

令和7年度第2回 足立区地域保健福祉推進協議会 「子ども支援専門部会」

日時：令和7年12月16日(火) 14時00分～
場所：足立区役所 12階会議室 1205AB

1 審議・調査事項

- (1) 家庭的保育事業の認可手続き及び利用定員の確認について
(所管課：子ども家庭部 幼稚園・地域保育課) ……【審議・調査事項1】 P 1
- (2) 居宅訪問型保育事業の利用定員の確認について
(所管課：子ども家庭部 幼稚園・地域保育課) ……【審議・調査事項2】 P 3

2 報告事項

- (1) 令和8年度あだち放課後子ども教室の民間事業者への委託に関する進捗状況について
(所管課：学校運営部 青少年課ほか) ……【報告事項1】 P 4
- (2) 令和6年度あだちっ子歯科健診の実施結果について
(所管課：子ども家庭部 子ども政策課ほか) ……【報告事項2、別添資料】 P 16
- (3) 「子育て家庭訪問事業」及び「子育て支援アプリ」の実施について
(所管課：子ども家庭部 子ども政策課) ……【報告事項3】 P 21
- (4) こども誰でも通園制度実施に向けた論点について
(所管課：子ども家庭部 保育・入園課ほか) ……【報告事項4】 P 26
- (5) 足立区民設学童保育室の選考状況について
(所管課：子ども家庭部 学童保育課) ……【報告事項5】 P 28
- (6) 学童保育室及び放課後子ども教室運営業務委託の公募型プロポーザルによる事業者の特定結果について
(所管課：子ども家庭部 学童保育課ほか) ……【報告事項6】 P 37

3 情報連絡事項

- (1) 「アダチ若者会議」の実施結果について
(所管課：あだち未来創造室 子どもの貧困対策・若年者支援課) ……【情報連絡事項1】 P 56
- (2) 足立区こども計画策定状況及び今後のスケジュールについて
(所管課：あだち未来創造室 子どもの貧困対策・若年者支援課) ……【情報連絡事項2、別添資料】 P 59
- (3) 令和7年度夏休み期間中における体験講座等の無料化事業（あだちワークわーく in Summer）の実施結果について
(所管課：あだち未来創造室 子どもの貧困対策・若年者支援課) ……【情報連絡事項3】 P 61
- (4) 「モギ社会人1年目」実施状況について
(所管課：あだち未来創造室 子どもの貧困対策・若年者支援課) ……【情報連絡事項4】 P 63
- (5) あだち放課後子ども教室の令和6年度実施状況について
(所管課：学校運営部 青少年課ほか) ……【情報連絡事項5】 P 66

(6) 乳幼児を対象にした夏の遊び場確保事業の実施結果について

(所管課：子ども家庭部 子ども政策課)【情報連絡事項6】 P 7 0

【次回以降の開催日程】

	日程	時間（予定）	場所
第3回	3月17日（火）	14時から	区役所 13階 大会議室A

令和 7 年度 第 2 回 足立区地域保健福祉推進協議会
「子ども支援専門部会」

令和 7 年 1 2 月 1 6 日

【 審議・調査事項 報告事項 情報連絡事項 】

件 名	家庭的保育事業の認可手続き及び利用定員の確認について
所 管 部 課	子ども家庭部 幼稚園・地域保育課
内 容	<p>児童福祉法及び子ども・子育て支援法に基づき、認可手続き及び利用定員の確認を行うにあたり、子ども支援専門部会で意見聴取を行う必要があるため、本案を提出する。</p> <p>1 認可手続きについて</p> <p>(1) 認可理由 家庭的保育事業における事業の継承</p> <p>現在開業中の家庭的保育事業者が、定年等により保育補助者（以下「事業継承者という。」に事業を継がせたいという意向があったため、令和 6 年度の子ども施設指定管理者等選定審査会において事業継承者が家庭的保育者に認定された。</p> <p>このたび、事業の継承の準備が整ったため、該当の事業継承者について認可手続きを行う。</p> <p>(2) 認可適合基準</p> <p>認可者である区が審査した結果、認可基準に適合していることを確認した（別紙参照）。</p> <p>(3) 事業継承者</p> <p>藤浪 七恵</p> <p>(4) 認可年月日</p> <p>令和 8 年 4 月 1 日</p> <p>2 利用定員の確認について</p> <p>職員配置及び面積基準等に問題がないため、申請のとおり利用定員を確認する（別紙参照）。</p>

家庭的保育事業審議資料

氏 名	所在地	分類	定員	職員配置 基準 ※ 1	保育室面積 ※ 2		給食 ※ 3	財務状況 ※ 4
					基準 (㎡)	実際 (㎡)		
藤浪七恵	足立区鹿浜 3-30-4 グリーンパーク鹿浜 101	事業 継承者	5	適合	16.5	23.43	自園調理	良好

※ 1 【職員配置基準】

家庭的保育者 1 人が保育することができる乳幼児の数は 3 人以下とする。

ただし、家庭的保育者が家庭的保育補助者とともに保育する場合には 5 人以下とする。

※ 2 【保育室面積】

保育室の面積は 9.9 ㎡以上であること。

ただし、保育する乳幼児が 3 人を超える場合は、9.9 ㎡に 3 人を超える人数 1 人につき 3.3 ㎡を加えた面積とする。

※ 3 【給食】

調理員が家庭的保育事業内の調理設備又は調理室で調理し、提供を行う。

ただし、規定を満たす搬入施設からの給食の搬入も認められる。

※ 4 【財務状況】

収支予算書、納税証明書、財務情報等の公表において、家庭的保育事業を行うために必要な経済的基礎があることを確認する。

【参考】家庭的保育事業の継承にあたっての審査結果

(令和 6 年 1 0 月 1 1 日 第 2 回足立区子ども施設指定管理者等選定審査会)

審査項目	視 点	得点率
筆記試験	家庭的保育者養成研修（基礎研修、認定研修）で学習した内容	91.0%
作 文	①家庭的保育者の役割を理解し、自覚と責任感が表れている。 ②どのような保育がしたいというビジョンが明確に表れている。 ③家庭（保護者）支援についての視点がしっかりと加わっている。など	89.8%
保育園実習	①子どもの健康状態や環境の清潔について理解ができたか。 ②子どもの事故防止や環境への配慮について理解ができたか。 ③乳児の発達経過や個人差等についてある程度理解できたか。など	75.0%
ヒアリング	①家庭的保育事業に対する熱意と意欲、誠実さがある。 ②災害、事故、疾病等に適切な対応ができる危機管理能力がある。 ③園児の安全（施設整備・防犯）、衛生・健康管理が適切である。など	80.2%
総合評価		84.0%

※ 個別の項目で概ね 7 割に満たない場合又は総合評価点数が 7 割に満たない場合は、事業継承者として承認しない。

令和 7 年度 第 2 回 足立区地域保健福祉推進協議会
「子ども支援専門部会」

令和 7 年 1 2 月 1 6 日

【 審議・調査事項 報告事項 情報連絡事項 】

件 名	居宅訪問型保育事業の利用定員の確認について												
所 管 部 課	子ども家庭部 幼稚園・地域保育課												
内 容	<p>子ども・子育て支援法に基づき、利用定員の確認を行うにあたり、子ども支援専門部会で意見聴取を行う必要があるため、本案を提出する。</p> <p>1 確認の手続きについて</p> <p>(1) 実施理由</p> <p>令和 8 年 4 月から、疾病又は障がい等により医療的ケアが必要なため、集団による保育の利用が困難なお子さんを対象として、その居宅において保育を行う居宅訪問型保育事業を実施する。</p> <p>については、当該事業者が国の定める運営基準を満たし、公費による給付の対象事業者とするため、確認の手続を行う。</p> <p>(2) 運営基準</p> <p>区が審査した結果、国が定める運営基準に適合していることを確認した。</p> <table border="1"> <tr> <td>事業者名</td><td>特定非営利活動法人フローレンス</td></tr> <tr> <td>所在地</td><td>千代田区神田神保町 1 - 1 4 - 1 K D K 神保町ビル 4 階</td></tr> <tr> <td>認可年月日</td><td>平成 2 7 年 4 月 1 日</td></tr> <tr> <td>定 員</td><td>1 名（保育者 1 名につき乳幼児 1 名）</td></tr> <tr> <td>職員配置</td><td>事業管理責任者 1 名、保育管理者 1 名、保育者 2 名以上（常勤 2 名以上）、看護師、事務職員</td></tr> <tr> <td>財務状況</td><td>良好（※）</td></tr> </table> <p>※ 活動計算書、活動予算書等により、事業を行うために必要な経済的基礎があることを確認した。</p> <p>2 利用定員の確認</p> <p>職員配置や財務状況等に問題がないため、申請のとおり利用定員を確認する。</p>	事業者名	特定非営利活動法人フローレンス	所在地	千代田区神田神保町 1 - 1 4 - 1 K D K 神保町ビル 4 階	認可年月日	平成 2 7 年 4 月 1 日	定 員	1 名（保育者 1 名につき乳幼児 1 名）	職員配置	事業管理責任者 1 名、保育管理者 1 名、保育者 2 名以上（常勤 2 名以上）、看護師、事務職員	財務状況	良好（※）
事業者名	特定非営利活動法人フローレンス												
所在地	千代田区神田神保町 1 - 1 4 - 1 K D K 神保町ビル 4 階												
認可年月日	平成 2 7 年 4 月 1 日												
定 員	1 名（保育者 1 名につき乳幼児 1 名）												
職員配置	事業管理責任者 1 名、保育管理者 1 名、保育者 2 名以上（常勤 2 名以上）、看護師、事務職員												
財務状況	良好（※）												

令和 7 年度 第 2 回 足立区地域保健福祉推進協議会
「子ども支援専門部会」

令和 7 年 1 2 月 1 6 日

【 審議・調査事項 **報告事項** 情報連絡事項 】

件 名	令和 8 年度あだち放課後子ども教室の民間事業者への委託に関する進捗状況について
所 管 部 課	<u>学校運営部 青少年課</u> 子ども家庭部 学童保育課、足立区生涯学習振興公社
内 容	<p>1 あだち放課後子ども教室における課題 全 6 7 区立小学校で実施しているあだち放課後子ども教室は、全学年・平日全曜日実施を目標としているが、7 割程度の学校で利用学年や実施曜日を限定している。</p> <p>【限定している主な要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 従事スタッフの高齢化 ② 新たなスタッフ確保が困難 ③ 場所の確保が困難 <p>①②は、地域住民からなる実行委員会からも事業継続の課題として挙げられてきたので、<u>民間事業者への委託化の検討に着手した。</u></p> <p>2 民間委託化の対象校 (1) 校内学童がある 3 5 校のうち、指定管理が運営している学童保育室が存する 1 3 校 (2) そのうち令和 8 年度は、令和 7 年度末で指定管理期間が満了となる 5 校が対象 <u>5 校の実行委員会と協議し、3 校で民間委託化の了承を得た。</u></p> <p>※ 放課後子ども教室と学童保育室との一体的な運営が効果的であるため、校内学童の存する学校を対象とした。</p> <p>3 令和 8 年度対象校のプロポーザル結果 令和 8 年度からの民間委託化の了承を得た 3 校について、一体的な運営を行う事業者は、以下のとおりである。</p>

実施小学校	法人名・法人所在地・代表者
千寿第八	株式会社学研ココファン・ナーサリー 品川区西五反田 2-11-8 学研ビル 代表取締役 山崎 知恵
大谷田	株式会社明日葉 港区三田 3-5-19 住友不動産東京三田ガーデンタワー 代表取締役 大隈 太嘉志
東栗原	株式会社テノ、コーポレーション 福岡市博多区上呉服町 10-10 呉服町ビジネスセンター5 階 代表取締役 池内 比呂子
島根	令和 8 年度は実行委員会にて運営を行う。
中島根	令和 8 年度は実行委員会にて運営を行う。

※ 一体的な運営を行う 3 校の具体的な選定結果については、別紙参照（P 7 ～ 1 5）。

4 令和 8 ・ 9 年度の民間委託実施に向けたスケジュール（予定）

	R7 9～12 月	R8 1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
R 8 対象校		契約締結 ●	引継ぎ		委託による運営開始			
R 9 対象校		対象校の校長 実行委員長・実行委員会へ 説明			実行委員会との協議			実施校決定 ●

※ 令和 9 年度からの対象校については、実行委員長及び実行委員会、安全管理員（スタッフ）へと説明・協議を行っている。

※ 令和 8 年度の対象校のうち、民間委託化に至らなかった 2 校（島根・中島根小学校）については、引き続き協議していく。

5 令和9・10年度の民間委託化検討の対象校（予定）

	令和9年度	令和10年度
対象校	<ul style="list-style-type: none"> ■千寿小学校 ■綾瀬小学校 ■江北小学校 	<ul style="list-style-type: none"> ■新田学園（第1・2校舎） ■亀田小学校 ■鹿浜未来小学校

※ 校内学童のうち、指定管理で運営している13校の民間委託化を進めていくとともに、別の運営形態の校内学童との一体的運営についても検討していく。

学童保育室及び放課後子ども教室運営業務委託プロポーザル運営事業計画書提出者選定結果（第一次）

1 運営事業計画書提出者選定結果（第一次）

【千寿第八小学校】

項番	評価項目	評価の視点	指標	配点	(株)学研コ コファン・ ナーサリー	H 社	J 社	K 社	L 社
1	組織の安定性	経営基盤及び経営状況は良好か	① 資本金 ② 売上高 ③ 財務諸表	150	148	106	120	116	148
2	運営の安定性	業務遂行体制は妥当か	① 職員体制 ② 資格の有無	100	84	74	66	62	78
3	運営の実績	当該業務を遂行するために必要な知識及び良好かつ豊富な運営実績を有しているか	同種・類似業務の実績	150	93	114	114	105	132
4	地域精通度	対象エリア地域性を熟知しているか	近隣エリアにおける請負実績	100	72	64	84	76	84
5	(区内業者加点)	区内に本店のある業者 + 10%			—	—	—	—	—
総 合 計				500	397	358	384	359	442
選 定 結 果					選定		選定		選定

※ 総合計の 6 割となる 300 点以上が選定対象。運営事業計画書提出者の選定（第一次）の点数は、運営事業計画書特定のための評価点（第二次）に加点しない。

【大谷田小学校】

項番	評価項目	評価の視点	指標	配点	(株)明日葉	D 社	H 社
1	組織の安定性	経営基盤及び経営状況は良好か	① 資本金 ② 売上高 ③ 財務諸表	150	106	102	104
2	運営の安定性	業務遂行体制は妥当か	① 職員体制 ② 資格の有無	100	50	72	76
3	運営の実績	当該業務を遂行するために必要な知識及び良好かつ豊富な運営実績を有しているか	同種・類似業務の実績	150	114	102	120
4	地域精通度	対象エリア地域性を熟知しているか	近隣エリアにおける請負実績	100	72	64	68
5	(区内業者加点)	区内に本店のある業者 + 10%			—	—	—
総 合 計				500	342	340	368
選 定 結 果					選定	選定	選定

※ 総合計の6割となる300点以上が選定対象。運営事業計画書提出者の選定（第一次）の点数は、運営事業計画書特定のための評価点（第二次）に加点しない。

【東栗原小学校】

項番	評価項目	評価の視点	指標	配点	C 社	(株)テノ. コーポレーション	K 社
1	組織の安定性	経営基盤及び経営状況は良好か	① 資本金 ② 売上高 ③ 財務諸表	150	106	110	116
2	運営の安定性	業務遂行体制は妥当か	① 職員体制 ② 資格の有無	100	54	74	64
3	運営の実績	当該業務を遂行するために必要な知識及び良好かつ豊富な運営実績を有しているか	同種・類似業務の実績	150	114	114	105
4	地域精通度	対象エリア地域性を熟知しているか	近隣エリアにおける請負実績	100	72	60	80
5	(区内業者加点)	区内に本店のある業者 + 10%			—	—	—
総 合 計				500	346	358	365
選 定 結 果					選定	選定	選定

※ 総合計の 6 割となる 300 点以上が選定対象。運営事業計画書提出者の選定（第一次）の点数は、運営事業計画書特定のための評価点（第二次）に加点しない。

学童保育室及び放課後子ども教室運営業務委託プロポーザル運営事業計画書特定結果（第二次）

2 運営事業計画書特定結果（第二次）

【千寿第八小学校】

項番	評価項目	評価の視点	配点	(株)学研 ココファン・ ナースリー	J 社	L 社
1	運営方針	学童保育室及び放課後子ども教室に対する役割や機能、コンセプト、展望等は的確であるか。	20	18	18	20
2		事業者の特性・専門性、ノウハウを活用した提案内容になっているか。	20	16	18	18
3	運営の取り組み	児童の健全育成を促すために、また、児童が放課後を過ごす魅力のある場所とするために、学童保育室及び放課後子ども教室それぞれの視点が十分に考慮されているか。	20	19	18	18
4		「芸術・文化」「体験」「スポーツ」等の各分野において多彩なプログラム体験活動等を実施する計画があるか。	20	19	20	15
5		健康管理、基本的生活習慣等の日常生活の支援及び質の向上に対する取り組みがされているか。	20	17	18	16
6	児童への対応	児童が学童保育室や放課後子ども教室を利用しやすくなるような工夫が考えられているか。	25	22	22	22
7		育成支援方針や子どもが問題行動をした場合の対処法等が適切にとられているか。	25	20	22	20
8		発達支援児等、特別な支援が必要な児童に対しての配慮について具体性があるか。	25	22	23	22
9	学校・地域及び各関係 機関との連携	児童の状況把握、より良い支援、事業の円滑な運営にあたり、学校と連携がされているか。	25	24	19	21
10		地域からより多くの事業協力員を得るための提案や事業協力員と連携して、具体的な事業展開が期待できるか。	25	23	20	20
11		児童の健全な育成に関わる足立区の関係機関の役割や情報を把握しているか。	20	20	16	16
12	保護者への対応	保護者への情報提供、情報共有、トラブル発生時の対応や苦情処理の取り組みがされているか。	25	22	22	22
13		利用者に直接意見を聴き、利用者側の視点に立って評価・改善に取り組む姿勢があるか。	25	22	21	22
14		保護者との日常的なコミュニケーションを円滑に進めるための工夫がなされているか。	25	22	20	19
15	危機管理	子どもの事故やケガの防止策、感染症対策について、十分に定められているか。	25	23	23	22
16		おやつ提供に関する安全面、衛生面への配慮をしているか。 また、食物アレルギーのある子どもに対して、事故防止に対する取り組みがされているか。	25	23	23	23

17		防犯体制や、災害時等の対応方針を明確にしているか。	20	17	15	18
項番	評価項目	評価の視点	配点	(株)学研 ココファン・ ナーサリー	J社	L社
18	個人情報	個人情報の保管や取り扱いについて具体的に定めているか。	20	18	18	18
19		個人情報の保護・管理に関する教育方針を持っているか。	20	18	18	19
20	運営体制	職員の資質向上のための研修など、育成計画が定められているか。	20	19	19	19
21		職員にコンプライアンス（法令遵守）についての教育が図られているか。	20	19	18	19
22		指揮命令系統、本部との連携などについての的確に定められているか。	20	18	19	19
23	プレゼンテーション	説明が論理的で説得力があるか。	10	9	9	8
24	(区内業者加点)	区内に本店があり対象業務区域が区内である＋5％、区内に本店があり対象業務区域が区外である＋4％、区内に支店があり対象業務区域が区内である＋3％、区内に支店があり対象業務区域が区外である＋2％		—	—	—
総 合 計			500	450	439	436
特 定 結 果				特定		

【大谷田小学校】

項番	評価項目	評価の視点	配点	(株)明日葉	D 社	H 社
1	運営方針	学童保育室及び放課後子ども教室に対する役割や機能、コンセプト、展望等は的確であるか。	16	14	16	15
2		事業者の特性・専門性、ノウハウを活用した提案内容になっているか。	16	15	15	15
3	運営の取り組み	児童の健全育成を促すために、また、児童が放課後を過ごす魅力のある場所とするために、学童保育室及び放課後子ども教室それぞれの視点が十分に考慮されているか。	16	15	14	16
4		「芸術・文化」「体験」「スポーツ」等の各分野において多彩なプログラム体験活動等を実施する計画があるか。	16	14	13	16
5		健康管理、基本的生活習慣等の日常生活の支援及び質の向上に対する取り組みがされているか。	16	13	13	14
6	児童への対応	児童が学童保育室や放課後子ども教室を利用しやすくなるような工夫が考えられているか。	20	18	16	18
7		育成支援方針や子どもが問題行動をした場合の対処法等が適切にとられているか。	20	18	16	18
8		発達支援児等、特別な支援が必要な児童に対しての配慮について具体性があるか。	20	16	16	18
9	学校・地域及び各関係機関との連携	児童の状況把握、より良い支援、事業の円滑な運営にあたり、学校と連携がされているか。	20	19	15	16
10		地域からより多くの事業協力員を得るための提案や事業協力員と連携して、具体的な事業展開が期待できるか。	20	20	15	17
11		児童の健全な育成に関わる足立区の関係機関の役割や情報を把握しているか。	16	15	15	13
12	保護者への対応	保護者への情報提供、情報共有、トラブル発生時の対応や苦情処理の取り組みがされているか。	20	18	18	16
13		利用者に直接意見を聴き、利用者側の視点に立って評価・改善に取り組む姿勢があるか。	20	18	17	16
14		保護者との日常的なコミュニケーションを円滑に進めるための工夫がなされているか。	20	18	18	16
15	危機管理	子どもの事故やケガの防止策、感染症対策について、十分に定められているか。	20	19	19	19
16		おやつを提供に関する安全面、衛生面への配慮をしているか。 また、食物アレルギーのある子どもに対して、事故防止に対する取り組みがされているか。	20	20	18	19
17		防犯体制や、災害時等の対応方針を明確にしているか。	16	16	15	16

18	個人情報	個人情報の保管や取り扱いについて具体的に定めているか。	16	14	15	15
19		個人情報の保護・管理に関する教育方針を持っているか。	16	13	16	15
項番	評価項目	評価の視点	配点	(株)明日葉	D 社	H 社
20	運営体制	職員の資質向上のための研修など、育成計画が定められているか。	16	13	14	15
21		職員にコンプライアンス（法令遵守）についての教育が図られているか。	16	14	14	15
22		指揮命令系統、本部との連携などについての的確に定められているか。	16	14	15	15
23	プレゼンテーション	説明が論理的で説得力があるか。	8	8	6	8
24	(区内業者加点)	区内に本店があり対象業務区域が区内である＋5％、区内に本店があり対象業務区域が区外である＋4％、区内に支店があり対象業務区域が区内である＋3％、区内に支店があり対象業務区域が区外である＋2％		—	—	—
総 合 計			400	362	349	361
特 定 結 果				特定		

※ 選定委員5名のうち1名が欠席となったため、配点が400点となった。

【東栗原小学校】

項番	評価項目	評価の視点	配点	C社	(株)テノ. コーポレーション	K社
1	運営方針	学童保育室及び放課後子ども教室に対する役割や機能、コンセプト、展望等は的確であるか。	20	19	18	18
2		事業者の特性・専門性、ノウハウを活用した提案内容になっているか。	20	19	17	17
3	運営の取り組み	児童の健全育成を促すために、また、児童が放課後を過ごす魅力のある場所とするために、学童保育室及び放課後子ども教室それぞれの視点が十分に考慮されているか。	20	18	20	17
4		「芸術・文化」「体験」「スポーツ」等の各分野において多彩なプログラム体験活動等を実施する計画があるか。	20	18	20	19
5		健康管理、基本的生活習慣等の日常生活の支援及び質の向上に対する取り組みがされているか。	20	17	17	17
6	児童への対応	児童が学童保育室や放課後子ども教室を利用しやすくなるような工夫が考えられているか。	25	22	24	21
7		育成支援方針や子どもが問題行動をした場合の対処法等が適切にとられているか。	25	20	22	20
8		発達支援児等、特別な支援が必要な児童に対しての配慮について具体性があるか。	25	19	24	19
9	学校・地域及び各関係機関との連携	児童の状況把握、より良い支援、事業の円滑な運営にあたり、学校と連携がされているか。	25	22	22	20
10		地域からより多くの事業協力員を得るための提案や事業協力員と連携して、具体的な事業展開が期待できるか。	25	22	23	20
11		児童の健全な育成に関わる足立区の関係機関の役割や情報を把握しているか。	20	16	17	16
12	保護者への対応	保護者への情報提供、情報共有、トラブル発生時の対応や苦情処理の取り組みがされているか。	25	22	22	20
13		利用者に直接意見を聴き、利用者側の視点に立って評価・改善に取り組む姿勢があるか。	25	22	23	20
14		保護者との日常的なコミュニケーションを円滑に進めるための工夫がなされているか。	25	20	22	19
15	危機管理	子どもの事故やケガの防止策、感染症対策について、十分に定められているか。	25	23	22	23
16		おやつ提供に関する安全面、衛生面への配慮をしているか。 また、食物アレルギーのある子どもに対して、事故防止に対する取り組みがされているか。	25	22	24	23
17		防犯体制や、災害時等の対応方針を明確にしているか。	20	15	19	15
18	個人情報	個人情報の保管や取り扱いについて具体的に定めているか。	20	19	19	18

19		個人情報の保護・管理に関する教育方針を持っているか。	20	18	20	19
項番	評価項目	評価の視点	配点	C社	(株)テノ. コーポレーション	K社
20	運営体制	職員の資質向上のための研修など、育成計画が定められているか。	20	17	19	17
21		職員にコンプライアンス（法令遵守）についての教育が図られているか。	20	18	19	18
22		指揮命令系統、本部との連携などについての的確に定められているか。	20	18	19	19
23	プレゼンテーション	説明が論理的で説得力があるか。	10	10	10	8
24	(区内業者加点)	区内に本店があり対象業務区域が区内である＋5％、区内に本店があり対象業務区域が区外である＋4％、区内に支店があり対象業務区域が区内である＋3％、区内に支店があり対象業務区域が区外である＋2％		—	—	—
総 合 計			500	436	462	423
特 定 結 果					特定	

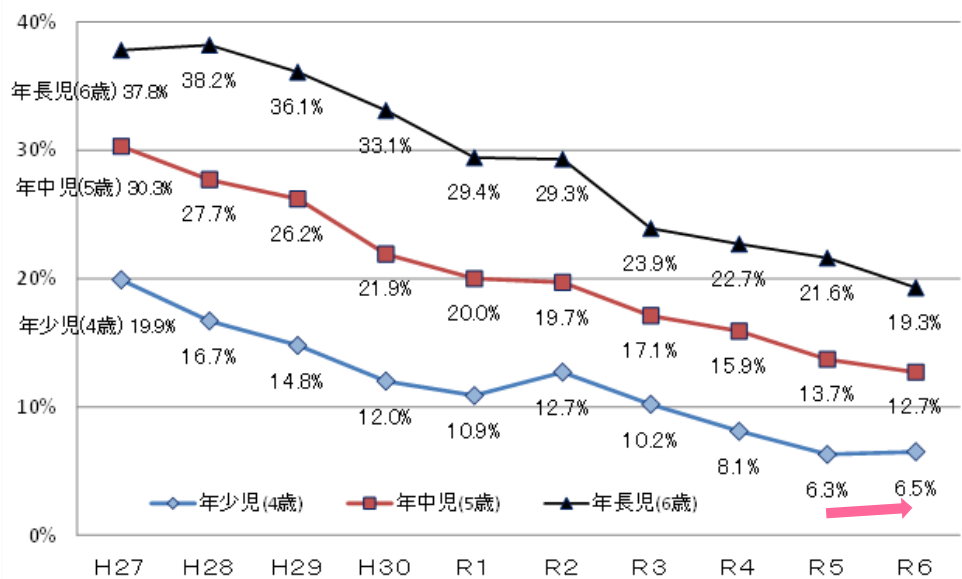
令和 7 年度 第 2 回 足立区地域保健福祉推進協議会
「子ども支援専門部会」

令和 7 年 1 2 月 1 6 日

【 審議・調査事項 報告事項 情報連絡事項 】

件名	令和6年度あだちっ子歯科健診の実施結果について																																																							
所管部課	子ども家庭部 子ども政策課、保育・入園課、私立保育園課、幼稚園・地域保育課																																																							
内容	<p>「足立区糖尿病対策アクションプラン2ー歯科口腔保健対策ー」の一環として、むし歯が増えやすい年少児(4歳)～年長児(6歳)全ての子どもを対象に「あだちっ子歯科健診」を実施し、むし歯予防及び早期の治療に繋げる取組を進めている。</p> <p>令和6年度の結果について報告する(詳細は別添資料参照)。</p> <p>1 施設参加率と健診受診率(図1)</p> <p>(1) 参加率は8年連続100%、受診率は微増</p> <p>ア 全216施設実施、13,275名受診</p> <p>イ 施設通園児の受診率 99.2%(前年比0.6ポイント増)</p> <p>ウ 未通園児等※の受診率 30.6%(前年比0.7ポイント増)</p> <p>令和6年度は、新たに発達支援施設(1施設)に歯科医師が赴いて歯科健診を実施した。</p> <p>※ 家庭保育又は認可外保育施設(認証保育所を除く)、企業主導型保育施設、児童発達支援センター等に通っている子どもを含む。区外通園児は除く。</p> <p>(図1)施設参加率と健診受診率</p> <p>施設参加率と受診率(経年)</p> <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>施設参加率</th><th>施設通園児受診率</th><th>未通園児等受診率</th><th>区外通園児受診率</th></tr></thead><tbody><tr><td>H27</td><td>100.0%</td><td>98.8%</td><td>8.6%</td><td>4.2%</td></tr><tr><td>H28</td><td>100.0%</td><td>99.0%</td><td>9.4%</td><td>5.1%</td></tr><tr><td>H29</td><td>100.0%</td><td>99.1%</td><td>13.5%</td><td>9.8%</td></tr><tr><td>H30</td><td>100.0%</td><td>99.0%</td><td>13.0%</td><td>9.2%</td></tr><tr><td>R1</td><td>100.0%</td><td>99.4%</td><td>14.3%</td><td>9.5%</td></tr><tr><td>R2</td><td>100.0%</td><td>98.6%</td><td>17.3%</td><td>9.1%</td></tr><tr><td>R3</td><td>100.0%</td><td>98.7%</td><td>21.0%</td><td>14.1%</td></tr><tr><td>R4</td><td>100.0%</td><td>99.0%</td><td>30.6%</td><td>8.9%</td></tr><tr><td>R5</td><td>100.0%</td><td>98.6%</td><td>29.9%</td><td>8.5%</td></tr><tr><td>R6</td><td>100.0%</td><td>99.2%</td><td>30.6%</td><td>10.6%</td></tr></tbody></table> <p>2 健診結果及び分析</p> <p>(1) 乳歯にむし歯がある子どもの割合</p> <p>乳歯にむし歯がある子どもの割合は、4歳(年少児)を除き、前年度より減少している(図2)。</p>	年度	施設参加率	施設通園児受診率	未通園児等受診率	区外通園児受診率	H27	100.0%	98.8%	8.6%	4.2%	H28	100.0%	99.0%	9.4%	5.1%	H29	100.0%	99.1%	13.5%	9.8%	H30	100.0%	99.0%	13.0%	9.2%	R1	100.0%	99.4%	14.3%	9.5%	R2	100.0%	98.6%	17.3%	9.1%	R3	100.0%	98.7%	21.0%	14.1%	R4	100.0%	99.0%	30.6%	8.9%	R5	100.0%	98.6%	29.9%	8.5%	R6	100.0%	99.2%	30.6%	10.6%
	年度	施設参加率	施設通園児受診率	未通園児等受診率	区外通園児受診率																																																			
H27	100.0%	98.8%	8.6%	4.2%																																																				
H28	100.0%	99.0%	9.4%	5.1%																																																				
H29	100.0%	99.1%	13.5%	9.8%																																																				
H30	100.0%	99.0%	13.0%	9.2%																																																				
R1	100.0%	99.4%	14.3%	9.5%																																																				
R2	100.0%	98.6%	17.3%	9.1%																																																				
R3	100.0%	98.7%	21.0%	14.1%																																																				
R4	100.0%	99.0%	30.6%	8.9%																																																				
R5	100.0%	98.6%	29.9%	8.5%																																																				
R6	100.0%	99.2%	30.6%	10.6%																																																				

(図2) 乳歯にむし歯がある子どもの割合(処置歯も含む)



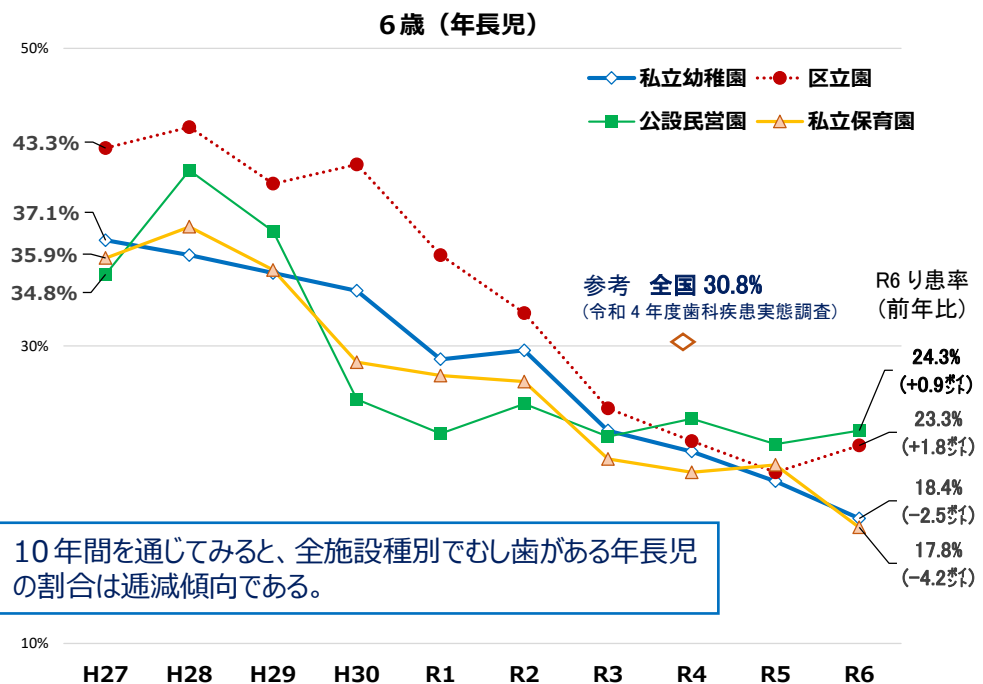
(2) 10年間の成果と課題

平成27年度～令和6年度の歯科健診結果の推移

ア 施設種別・むし歯がある6歳(年長児)の割合

全施設種別で「むし歯がある6歳(年長児)の割合」が減少したが、令和6年度は、区立園・公設民営園のむし歯り患率が増加に転じている。

(図3) 施設種別・むし歯がある6歳(年長児)の割合の推移



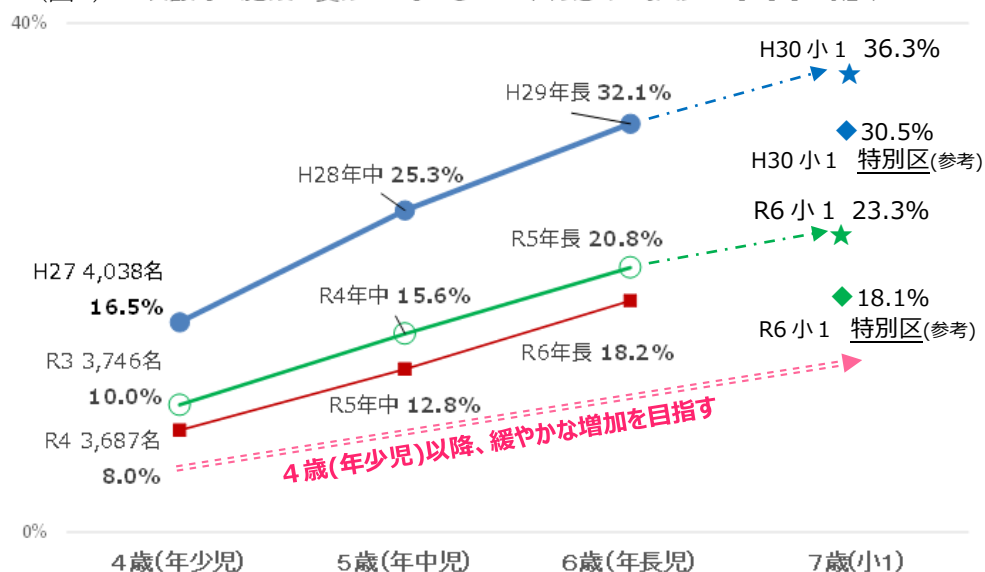
10年間を通じてみると、全施設種別でむし歯がある年長児の割合は遞減傾向である。

<10年間の成果>

区立園	-20.0 ポイント	公設民営園	-10.5 ポイント
私立幼稚園	-18.7 ポイント	私立保育園	-18.1 ポイント

イ 4歳(年少児)から6歳(年長児)のむし歯増加率は、平成27年度より低下しているが、小学1年生で特別区平均には依然として届いていない。

(図4) 3年間同一施設で受診した子どものむし歯罹患率の推移 ※参考 小1り患率

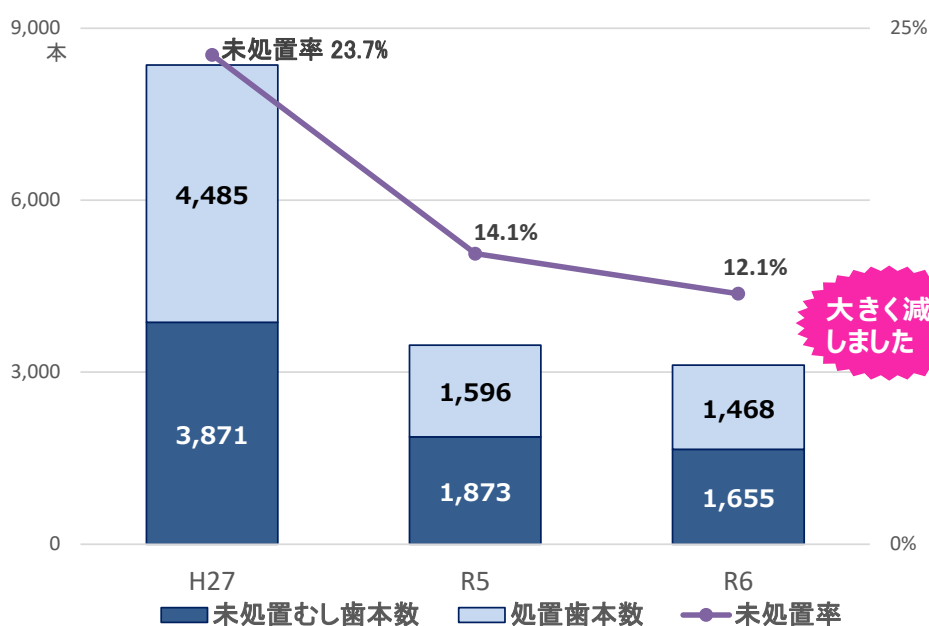


今後の強化ポイント①

4歳(年少児)から5歳(年中児)のむし歯増加を防ぐ

ウ 未処置のむし歯をもつ6歳(年長児)の割合は半減、本数は約6割減少している。

(図5) 未処置のむし歯をもつ6歳(年長児)の割合と本数



今後の強化ポイント②

「むし歯は治療する」「新たなむし歯をつくらない」取組の推進

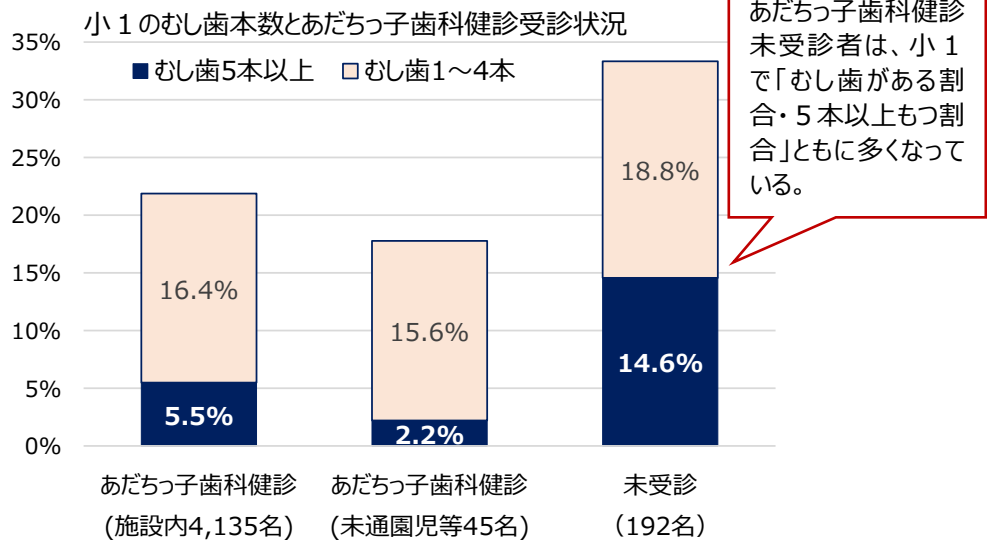
【参考】

(表1) むし歯がある小学1年生の割合

	R2	R3	R4	R5	R6
むし歯がある小学1年生の割合	33.1%	29.2%	27.6%	26.0%	23.3%
特別区順位	22位	22位	23位 5年ぶり	22位	21位

※ 特別区別のむし歯がある小学1年生の割合は別添資料●P7参照

(図6) 令和6年度小学1年生の乳歯のむし歯本数と令和5年度あだちっ子歯科健診受診状況



3 今後の取組

課題	対策
(1) 4歳(年少児)から歯科口腔保健対策の強化 【子ども家庭部】	<p>ア 【新】「体験型リーフレット」による啓発 「歯みがき習慣はレジリエンスの向上にも影響すること※1」「フッ化物配合歯みがき剤の使用法」等、最新情報を盛り込んだ体験型リーフレットを作成・配付する。※1 第2期第1回 子どもの健康生活実態調査 報告書(概要版)</p> <p>イ 【強化】教育・保育施設の取組を支援 「年少児から給食後の歯みがき実施」並びに、歯によいおやつ・よく噛む習慣づくりに取り組む教育・保育施設を増やす。</p> <p>ウ 園歯科医モデル事業(区立保育園7園)の拡充 「あだちっ子・園歯科医モデル事業」の効果的な実施および事業評価を行い、令和9年度までの全園展開に向けて歯科医師会と調整を進めていく。</p>

(2) 歯科健診結果のお知らせ(全員に配付)を見直す 【子ども家庭部】	【見直し】 予防<新たなむし歯をつくらない>と治療<むし歯は治療する>の重要性が伝わる「結果のお知らせ」に変更する。 合わせて、要治療児が提出する受診報告書に「受診しない理由」を記載する欄を設ける等、治療に繋がらない家庭への支援策を検討していく。
(3) 未通園児等の受診率向上を図る 【子ども家庭部】	あだちっ子歯科健診参加2年目を迎える発達支援施設を支援し、通園児の確実な受診に繋げる。 【見直し】 受診率向上を目指し、未通園児に送付する通知をよりわかりやすく変更する。
(4) 最初に生える永久歯の奥歯「6歳臼歯」のむし歯予防を強化 【衛生部】	ア 令和5年度に開始した「6歳児対象 フッ化物塗布事業」の利用率向上に取り組み、健全な6歳臼歯の育成並びに定期管理の推進を図る(R6 9.9%→R7 目標 15%)。 <div>【参考】 定期的にフッ化物塗布を受けている年長児の割合 57.4% (R6 年度 6歳臼歯健康教室保護者アンケート結果)</div> イ 保健センター歯科衛生士による「6歳臼歯健康教室」において、「奥歯みがきと歯によいおやつ」をテーマに、歯みがき体験の実施並びに「10日間チャレンジカード」を活用した習慣づくりに取り組む。

令和 7 年度 第 2 回 足立区地域保健福祉推進協議会
「子ども支援専門部会」

令和 7 年 1 2 月 1 6 日

【 審議・調査事項 報告事項 情報連絡事項 】

件 名	「子育て家庭訪問事業」及び「子育て支援アプリ」の実施について	
所 管 部 課	子ども家庭部 子ども政策課	
内 容	1 子育て家庭訪問事業 (1) 子育て家庭の孤独・孤立を防止するため、生後 5 か月から 1 歳 4 か月の全世帯（約 4, 0 0 0 世帯）を訪問し、子育ての悩みなどを継続的に相談できる仕組みを構築する。なお、委託業者が提供する訪問事業システムを利用する。 (2) 内容 ① 子育て相談やよろずごとの傾聴（区直営・委託業者） ② 月齢に応じた育児情報の提供（区直営・委託業者） ③ 絵本等の配付と読み語り支援（区直営・委託業者） ④ 専門機関へのつなぎ（区直営） (3) 事業の流れ（別紙 1 「子育て家庭訪問事業 事業フロー図」参照）	
	No.	項目 内容
	1	事業案内通知 （委託業者 ⇒区民） 対象世帯に郵送（初回、約 4, 0 0 0 世帯） ※ 案内通知に、シリアルコード、認証パスワード及び訪問サイトの QR コードを掲載 ※ 2 回目以降は毎月新規対象者に郵送
	2	マイページ登録 （区民） ※ 初回のみ ① 訪問予約サイトにアクセスし、シリアルコード、認証パスワード、メールアドレスを入力し認証 ② 利用登録画面で氏名、居住エリア、子どもの生年月日、ログインパスワードを入力しマイページ登録
	3	訪問予約 （区民） 訪問希望日時を選択し、予約申請 ※ 予約申請がない世帯へは、ハガキ及び訪問による事業勧奨を複数回実施
	4	家庭訪問 （区直営・委託業者） 区職員と委託業者が担当エリアを訪問 【1 回目】 子育て相談や配付絵本の概要、受け取り方法を説明 【2 ～ 1 0 回目（最大）】 子育て相談に加え、配付絵本の読み語り方法の助言や実演 ※ 訪問日の前日に、予約忘れ防止のために、リマインドメールを送信 ※ 訪問終了後、訪問事業システムに訪問結果を入力

5	絵本等配付 (委託業者 ⇒区民)	① 訪問終了後、絵本引換チケット（1冊分）を訪問予約サイト（マイページ）に付与 ② チケット受領後、希望絵本（最大10冊）を選択 ③ 保管倉庫（委託業者）から郵送 ※ 1週間程度で到着
6	訪問結果報告 (委託業者⇒区)	訪問記録を集約し、区に報告（月1回） ※ 緊急の場合は即時報告
7	関係機関連携 (区⇒機関)	訪問結果に応じて、区が関係機関と連携 ※ 担当エリアの家庭訪問は、継続実施

(4) 訪問件数（10月分）
1, 302件

(5) PR方法
ア 区ホームページ、あだち広報10月10日号への掲載
イ 区SNSや子育て支援アプリ、コドモンへの投稿
ウ 区立図書館（15館）で特設コーナーによるPR（10月）
エ 保健センターや子育てサロンなど関連施設へのチラシ配布

2 子育て支援アプリ

(1) 概要
ア 「あんしん子育てナビ」の予防接種記録や成長記録などの機能を「子育て支援アプリ」に統合し、プッシュ通知機能の提供や相談窓口、イベント情報など新たに掲載することで、子育て情報に気軽にアクセスしやすくする。
イ 民間事業者が提供する「子育て支援アプリ（パッケージ）」を導入して、子育て情報の提供を行う。
ウ 「あんしん子育てナビ」から「子育て支援アプリ」へのデータ移行は、令和7年10月1日から令和8年3月末まで可能
※ 「あんしん子育てナビ」は、令和8年3月末で運用終了

(2) 対象
妊娠期から就学前までの子育て世帯

(3) ダウンロード開始日
令和7年10月1日から

(4) 提供機能

No.	項目	内容
1	予防接種 スケジュール管理	接種日の記録機能や生年月日に応じた接種スケジュールの自動作成 ※ 複数の子どもを追加可能(上限なし)
2	健診・成長記録	健診記録や成長グラフ・写真を記録 ※ 複数の子どもを追加可能(上限なし)
3	【新規】子育てサービスやイベント情報	区の子育てサービスやイベント・おでかけ情報の掲載
4	【新規】各種情報の プッシュ通知	年齢やエリアなどの条件を設定し、対象に合わせた情報の発信
5	【新規】家族間での 共有機能	記録した健診・成長記録を家族間で閲覧 ※ 共有人数に上限なし

	<p>(5) P R 方法</p> <p>ア 区ホームページ、あだち広報10月10日号への掲載</p> <p>イ 区SNSやコドモン、豆の木メールへの投稿</p> <p>ウ 区立図書館(15館)で特設コーナーによるPR(10月)</p> <p>エ 保健センターや子育てサロンなど関連施設へのチラシ配布</p> <p>(6) 子育て家庭訪問事業との連携</p> <p>訪問予約につなげるために、アプリ内に専用ページを作成する (別紙2「子育て支援アプリ トップ画面」参照)。</p> <p>(7) アプリのダウンロード数</p> <p>1, 867件(10月末時点)</p>
--	--

区事務局

会計年度任用職員

委託事業者

関係機関との連携

世帯の状況に
応じて

訪問結果の
確認

訪問結果の
確認

【1回目】家庭訪問
※ 結果は訪問事業
システムに入力

区担当エリア
(中央本町、
鹿浜、大谷田)

【2回目～】家庭訪問
※ 結果は訪問事業
システムに入力

区担当エリア
(中央本町、
鹿浜、大谷田)

訪問予約サイト

区民が
マイページ登録
訪問予約

委託事業者
担当エリア

【1回目】家庭訪問
※ 結果は訪問事業
システムに入力

訪問予約サイト

訪問後、区民が
希望絵本の申請

区民に
送付

訪問結果報告
(各訪問記録
を集約)

訪問予約サイト

区民が2回目
以降の訪問予
約

委託事業者
担当エリア

【2回目～】家庭訪問
※ 結果は訪問事業
システムに入力

訪問予約サイト

訪問後、区民が
希望絵本の申請

区民に
送付

訪問結果報告
(訪問記録を
集約)



アプリを開き、
画面を縦スクロール



「子育て家庭訪問事業」
専用ページを選択し、
区ホームページにアクセス



区ホームページから
専用サイトにアクセス

令和 7 年度 第 2 回 足立区地域保健福祉推進協議会
「子ども支援専門部会」

令和 7 年 1 2 月 1 6 日

【 審議・調査事項 報告事項 情報連絡事項 】

件 名	こども誰でも通園制度実施に向けた論点について		
所 管 部 課	子ども家庭部 保育・入園課、私立保育園課、幼稚園・地域保育課		
内 容	1 こども誰でも通園制度の概要		
	「こども未来戦略」（令和5年12月22日閣議決定）において制度化され、令和8年度から全国の自治体で実施が決定した。		
		国の考え	
	背景	① 乳幼児期のこどもが人生最初の一步を健やかに踏み出せるよう、社会全体で支え、応援していく必要性がある。 ② 未就園児の子育て家庭には、育児の不安や悩みを抱えている保護者がおり、支援を強化する必要がある。	
	目的	① 全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な生育環境を整備する。 ② 全ての子育て家庭に対し、保護者のライフスタイルにかかわらない形での支援を強化する。	
	内容	現行の幼児教育・保育給付とは別に、月一定時間まで、就労要件を問わず保育所等を利用できる制度	
	2 国の制度と足立区の実施における論点		
		国の想定	論点及び検討内容
	対象児童	0歳6カ月～満3歳未満の未通園児	対象年齢を国と同様にするのか。 ※ 未就学児全体では対象児童数 3,800 人のうち利用想定者は 1,800 人（R6 実施のニーズ調査より）
	利用料	1時間300円	東京都事業の活用で無償化するかどうか。
利用可能時間	児童1人あたり月10時間まで	① 国と同様の扱いとするのか。 ② 幼稚園の扱いをどうするのか。	
実施事業所	本制度の認可を受けた事業所	① 認可外保育施設で実施するのか。 ② 事業者の募集方法はどうか。 【令和7年9月現在の想定】 区立保育園：15園程度 私立保育園：10園程度 ※ 令和7年7月意向調査実施 小規模保育：10施設程度 家庭的保育：15事業所程度 幼稚園：30園程度 ※ 現在のプレ保育を継続 認証保育所：未定 } (※ 令和7年9月以降に調査予定) 企業主導型：未定 }	

	国の想定	論点及び検討内容
利用形態	① 定期利用 特定の事業所を継続して利用 ② 柔軟利用 利用者が自由に事業所を選択 ③ ①・②の組み合わせ	こどもの安全面や育ちの観点から検討
利用方法	「総合支援システム」を活用し、管理・運用	① 制度開始直後に新システムを使用することで、保育現場の混乱が生じないか ② 幼稚園のみの利用可能時間を10時間以上とした場合、利用者がシステムを使用することで混乱しないか
その他	給食提供は事業所の判断とする。	① アレルギー対応等の課題のクリアが必要 ② 公立園が他施設の模範となるよう、どのような取り組みをするか

3 スケジュール

時期	内容
令和7年9～11月	利用者負担額適正化審議会に利用料を諮問 ※ 関連事業における利用者負担額も合わせて検討
令和7年3定	設備及び運営の基準を定める条例を上程
令和7年11～12月	実施事業者の募集
令和8年1定	運営に関する基準を定める条例を上程 ※ 利用定員及び利用の手続き等に関する基準を定めるもの
令和8年2月	あだち広報で区民向け周知
令和8年3月	① 利用者の認定を開始 ② 子ども支援専門部会で認可・確認
令和8年4月	事業開始

令和 7 年度 第 2 回 足立区地域保健福祉推進協議会
「子ども支援専門部会」

令和 7 年 1 2 月 1 6 日

【 審議・調査事項 報告事項 情報連絡事項 】

件 名	足立区民設学童保育室の選考状況について																																						
所 管 部 課	子ども家庭部 学童保育課																																						
内 容	<p>待機児童解消のため、令和 8 年 4 月 1 日に開設を予定している民設学童保育室について、足立区民設学童保育室設置促進補助金交付審査会（以下、「審査会」という。）を開催したので、次のとおり報告する。</p> <p>1 業務名 足立区民設学童保育室設置促進補助事業</p> <p>2 応募・審査件数 （1）応募状況（7 事業者 1 5 件の応募）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>募 集 対 象 地 域</th><th>応募 件数</th><th>二次審査 結果</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>千寿小学校・千寿桜小学校・千寿本町小学校・千寿双葉小学校地域</td><td>3 件</td><td>2 件 選定</td></tr> <tr> <td>2</td><td>綾瀬小学校・大谷田小学校・東加平小学校地域</td><td>3 件</td><td>2 件 選定</td></tr> <tr> <td>3</td><td>島根小学校・中島根小学校・栗原小学校・西新井小学校地域</td><td>2 件</td><td>1 件 選定</td></tr> <tr> <td>4</td><td>足立小学校・梅島小学校地域</td><td>1 件</td><td>選定無</td></tr> <tr> <td>5</td><td>江北小学校地域</td><td>4 件</td><td>1 件 選定</td></tr> <tr> <td>6</td><td>扇小学校・寺地小学校地域</td><td>応募無</td><td></td></tr> <tr> <td>7</td><td>募集地域外</td><td>2 件</td><td>選定無</td></tr> <tr> <td colspan="2">合 計 数</td><td>1 5 件</td><td>6 件</td></tr> </tbody> </table> <p>（2）一次審査結果 税理士の財務診断で不適合及び募集地域外からの応募を除き、6 事業者 9 件が二次審査へ進んだ。</p> <p>3 二次審査結果 （1）運営予定事業者概要</p>				募 集 対 象 地 域	応募 件数	二次審査 結果	1	千寿小学校・千寿桜小学校・千寿本町小学校・千寿双葉小学校地域	3 件	2 件 選定	2	綾瀬小学校・大谷田小学校・東加平小学校地域	3 件	2 件 選定	3	島根小学校・中島根小学校・栗原小学校・西新井小学校地域	2 件	1 件 選定	4	足立小学校・梅島小学校地域	1 件	選定無	5	江北小学校地域	4 件	1 件 選定	6	扇小学校・寺地小学校地域	応募無		7	募集地域外	2 件	選定無	合 計 数		1 5 件	6 件
	募 集 対 象 地 域	応募 件数	二次審査 結果																																				
1	千寿小学校・千寿桜小学校・千寿本町小学校・千寿双葉小学校地域	3 件	2 件 選定																																				
2	綾瀬小学校・大谷田小学校・東加平小学校地域	3 件	2 件 選定																																				
3	島根小学校・中島根小学校・栗原小学校・西新井小学校地域	2 件	1 件 選定																																				
4	足立小学校・梅島小学校地域	1 件	選定無																																				
5	江北小学校地域	4 件	1 件 選定																																				
6	扇小学校・寺地小学校地域	応募無																																					
7	募集地域外	2 件	選定無																																				
合 計 数		1 5 件	6 件																																				

地域	法人名 (法人所在地)	設置予定地	定員
千寿桜小	特定非営利活動法人 子ども支援ホーム (川口市並木 1-2-12)	千住中居町 28-7 萬国ステイタスビル 301	40 人
千寿双葉小		千住柳町 22-4 矢代ビル 101	34 人
綾瀬小	株式会社 日本保育サービス (港区港南 1-2-70 品川シ ーズンテラス 5F)	綾瀬 1-33-14 アークステージ綾瀬 3F	40 人
東加平小	株式会社 MIRATZ (川口市川口 6-3-14 3F)	谷中 2-5-14 クイーンパレス浅伊 301	30 人
島根小		六月 2-3-12	40 人
江北小	株式会社ディアログ (渋谷区渋谷 3-8-12 渋谷第一生命ビルディン グ 7F)	江北 4-18-1	40 人

(2) 選定理由

ア 千寿桜小学校・千寿双葉小学校地域
学童保育の需要が多い区内同地域で既に運営実績があり、体験プログラムを通じて地域との連携も図れるため

イ 綾瀬小学校地域
学童保育の需要が多い地域である他、区内での運営実績もあり、安定した保育の提供が見込めるため

ウ 東加平小学校・島根小学校地域
区内での学童保育室の運営実績があり、保育のノウハウやスキルも豊富であることや、組織の管理体制も適切で安定した運営が見込めるため

エ 江北小学校地域
体験プログラムが充実している他、保育のノウハウが豊富で、マニュアルも詳細に整備されている。また、グループ会社を通じた安定した人材配置が見込まれるため

4 選定までの経緯

(1) 応募申込期間
令和7年6月10日から令和7年7月18日まで

(2) 審査会
ア 開催状況

			開催日	内 容
		第 1 回	令和 7 年 8 月 5 日 (火)	一次審査 (書類審査)
		第 2 回	令和 7 年 8 月 2 9 日 (金)	二次審査 (事業者の特定：プレゼン テーション、ヒアリング)
	イ 委員構成 (計 5 名)			
		種 別	氏 名	役 職 等
		学識経験者	【会長】 小野里 美 帆	文教大学教育学部 発達教育課程教授
		区 民	小 林 昇	足立区民生・児童委員協議会 主任児童委員
			猪 股 健 三	足立区立小学校 P T A 連合会 (西新井第一小学校 P T A 会長)
		区職員	楠 山 慶 之	子ども家庭部長
			西 島 誠	学校運営部青少年課長
	ウ 審査項目及び審査結果			
	別紙「足立区民設学童保育室設置促進補助金交付審査会 審査結果表」のとおり			
	5 その他			
	公募による選定以外に、次の民設学童保育室を開設する。			
	(1) 目的			
	マンション開発に伴う学童需要の増加に伴い、マンション一階部分 に学童保育室を整備するため			
	(2) 開設時期			
	令和 8 年 4 月 1 日			
	(3) 概要			
		設置予定地	運営事業者	定員
		千住橋戸町 1 - 5 (千寿小学校地域)	株式会社パソナフォスター	3 0 人
	6 今後の予定			
	今回決定した民設学童保育室については、事業者との連絡を密に取り ながら進捗状況を把握し、令和 8 年 4 月開設に向けて進行管理を徹底さ せる。			

足立区民設学童保育室設置促進補助金交付審査会 審査結果表
(千寿桜小学校地域)

報告事項5別紙

項番	評 価 項 目		配点	事業者名	
	分 類	説 明		特定非営利活動法人 子ども支援ホーム	
				得点	割合
1	運営団体について 150点	財務状況は安定しているか(税理士による財務状況調査結果を参照)。	50	30	60.0%
2		運営体制は安定しているか。	50	32	64.0%
3		学童保育室(若しくは類似施設)について豊富な運営実績を有しているか。	50	36	72.0%
		小 計	150	98	65.3%
4	学童保育室の施設 について 200点	立地が適切であるか(対象校との距離、周辺環境)。	50	34	68.0%
5		専用スペースの面積(一人あたり1.65㎡以上)が十分にあるか。	50	32	64.0%
6		必要な設備(トイレ2器以上、台所、事務スペース、静養スペース、採光)を十分に有しているか。	50	30	60.0%
7		非常災害時に対応しやすい設備(避難路(2方向以上)、非常口、非常用設備)となっているか。	50	30	60.0%
		小 計	200	126	63.0%
8	学童開設までの準備 について 150点	開設までのスケジュール(工事や職員採用)は適切か。	50	32	64.0%
9		開設までの資金計画は適正か。	50	32	64.0%
10		開設後5年間の収支計画は適正か。	50	30	60.0%
		小 計	150	94	62.7%
11	職員体制について 250点	現場責任者の資格や経験など適性は十分か。	50	36	72.0%
12		放課後児童支援員を安定して配置できる体制(人数、補充体制)が整っているか。	50	38	76.0%
13		職員の資質及び保育の質の向上のため、教育体制や研修計画が充実しているか。	50	36	72.0%
14		職員に対して個人情報の保護・管理に関する教育が徹底されているか。	50	36	72.0%
15		指揮命令系統、本部との連携や支援体制などについての的確に定められているか。	50	40	80.0%
		小 計	250	186	74.4%
16	危機管理について 250点	非常災害時の対応についての的確に定めているか。	50	40	80.0%
17		不審者対応等の防犯対策についての的確に定めているか。	50	40	80.0%
18		事件・事故時の対応についての的確に定めているか。	50	40	80.0%
19		施設の衛生管理についての的確に定めているか。	50	40	80.0%
20		アレルギー対応策についての的確に定めているか。	50	40	80.0%
		小 計	250	200	80.0%
21	子どもの育成支援 について 350点	学童の基本方針や運営理念は、国が定める「放課後児童クラブ運営指針」に沿ったものとなっているか。	50	36	72.0%
22		育成支援の方針は、子どもの発達状況や個性に即したものとなっているか。	50	34	68.0%
23		遊びの支援方針は、子どもの発達段階に応じた主体的な遊びができるものとなっているか。	50	34	68.0%
24		子どもの出欠席・健康管理や基本的生活習慣の定着等、日常生活の支援方針が適切なものとなっているか。	50	36	72.0%
25		おやつの方針は、子どもが落ち着いておやつを楽しめるとともに、補食としての栄養バランスや食育について考慮したものとなっているか。	50	32	64.0%
26		発達支援児等配慮が必要な子どもについて、適切な支援方針となっているか。	50	30	60.0%
27		団体の専門性や実績を活かした優れた提案があるか。	50	38	76.0%
		小 計	350	240	68.6%
28	保護者・学校・地域・関係機関等との 連携 150点	保護者と日々の連絡や情報共有を十分に行い、信頼関係が構築できるか。	50	34	68.0%
29		学校や地域、関係機関と協力関係を築くことができるか。	50	34	68.0%
30		保護者や近隣住民等からの意見・要望や苦情・相談に対応できる体制はあるか。	50	34	68.0%
		小 計	150	102	68.0%
合 計			1,500	1,046	69.7%

項番	評価項目			加点	得点	割合
	分類	説明	評価基準(得点)			
1	区内業者	区内に本店があり、対象業務区域が区内	区内に本店がある(5%を加点)	75	45	
2	区内業者	区内に支店があり、対象業務区域が区内	区内に支店がある(3%を加点)			
3	ワーク・ライフ・バランス推進企業	足立区ワークライフバランス推進企業等に認定	推進企業に認定されている(2%を加点)	30	0	
総 計				1,605	1,046	65.2%

順 位					1	
-----	--	--	--	--	---	--

足立区民設学童保育室設置促進補助金交付審査会 審査結果表
(千寿双葉小学校地域)

項番	評 価 項 目		配点	事業者名	
	分 類	説 明		特定非営利活動法人 子ども支援ホーム	
				得点	割合
1	運営団体について 150点	財務状況は安定しているか(税理士による財務状況調査結果を参照)。	50	32	64.0%
2		運営体制は安定しているか。	50	34	68.0%
3		学童保育室(若しくは類似施設)について豊富な運営実績を有しているか。	50	38	76.0%
		小 計	150	104	69.3%
4	学童保育室の施設 について 200点	立地が適切であるか(対象校との距離、周辺環境)。	50	36	72.0%
5		専用スペースの面積(一人あたり1.65㎡以上)が十分にあるか。	50	30	60.0%
6		必要な設備(トイレ2器以上、台所、事務スペース、静養スペース、採光)を十分に有しているか。	50	30	60.0%
7		非常災害時に対応しやすい設備(避難路(2方向以上)、非常口、非常用設備)となっているか。	50	32	64.0%
		小 計	200	128	64.0%
8	学童開設までの準備 について 150点	開設までのスケジュール(工事や職員採用)は適切か。	50	32	64.0%
9		開設までの資金計画は適正か。	50	32	64.0%
10		開設後5年間の収支計画は適正か。	50	30	60.0%
		小 計	150	94	62.7%
11	職員体制について 250点	現場責任者の資格や経験など適性は十分か。	50	36	72.0%
12		放課後児童支援員を安定して配置できる体制(人数、補充体制)が整っているか。	50	38	76.0%
13		職員の資質及び保育の質の向上のため、教育体制や研修計画が充実しているか。	50	36	72.0%
14		職員に対して個人情報の保護・管理に関する教育が徹底されているか。	50	36	72.0%
15		指揮命令系統、本部との連携や支援体制などについての的確に定められているか。	50	40	80.0%
		小 計	250	186	74.4%
16	危機管理について 250点	非常災害時の対応についての的確に定めているか。	50	40	80.0%
17		不審者対応等の防犯対策についての的確に定めているか。	50	40	80.0%
18		事件・事故時の対応についての的確に定めているか。	50	40	80.0%
19		施設の衛生管理についての的確に定めているか。	50	40	80.0%
20		アレルギー対応策についての的確に定めているか。	50	40	80.0%
		小 計	250	200	80.0%
21	子どもの育成支援 について 350点	学童の基本方針や運営理念は、国が定める「放課後児童クラブ運営指針」に沿ったものとなっているか。	50	36	72.0%
22		育成支援の方針は、子どもの発達状況や個性に即したものとなっているか。	50	34	68.0%
23		遊びの支援方針は、子どもの発達段階に応じた主体的な遊びができるものとなっているか。	50	34	68.0%
24		子どもの出欠席・健康管理や基本的生活習慣の定着等、日常生活の支援方針が適切なものとなっているか。	50	36	72.0%
25		おやつの方針は、子どもが落ち着いておやつを楽しめるとともに、補食としての栄養バランスや食育について考慮したものとなっているか。	50	32	64.0%
26		発達支援児等配慮が必要な子どもについて、適切な支援方針となっているか。	50	30	60.0%
27		団体の専門性や実績を活かした優れた提案があるか。	50	38	76.0%
		小 計	350	240	68.6%
28	保護者・学校・地域・関係機関等との 連携 150点	保護者と日々の連絡や情報共有を十分に行い、信頼関係が構築できるか。	50	34	68.0%
29		学校や地域、関係機関と協力関係を築くことができるか。	50	34	68.0%
30		保護者や近隣住民等からの意見・要望や苦情・相談に対応できる体制はあるか。	50	34	68.0%
		小 計	150	102	68.0%
合 計			1,500	1,054	70.3%

項番	評価項目			加点	得点	割合
	分類	説明	評価基準(得点)			
1	区内業者	区内に本店があり、対象業務区域が区内	区内に本店がある(5%を加点)	75	45	
2	区内業者	区内に支店があり、対象業務区域が区内	区内に支店がある(3%を加点)			
3	ワーク・ライフ・バランス推進企業	足立区ワークライフバランス推進企業等に認定	推進企業に認定されている(2%を加点)	30	0	
総 計				1,605	1,054	65.7%

順 位					1	
-----	--	--	--	--	---	--

足立区民設学童保育室設置促進補助金交付審査会 審査結果表
(綾瀬小学校地域)

項番	評 価 項 目		配点	事業者名 株式会社日本保育サービス	
	分 類	説 明		得点	割合
1	運営団体について 150点	財務状況は安定しているか(税理士による財務状況調査結果を参照)。	50	46	92.0%
2		運営体制は安定しているか。	50	46	92.0%
3		学童保育室(若しくは類似施設)について豊富な運営実績を有しているか。	50	50	100.0%
		小 計	150	142	94.7%
4	学童保育室の施設について 200点	立地が適切であるか(対象校との距離、周辺環境)。	50	30	60.0%
5		専用スペースの面積(一人あたり1.65㎡以上)が十分にあるか。	50	36	72.0%
6		必要な設備(トイレ2器以上、台所、事務スペース、静養スペース、採光)を十分に有しているか。	50	38	76.0%
7		非常災害時に対応しやすい設備(避難路(2方向以上)、非常口、非常用設備)となっているか。	50	34	68.0%
		小 計	200	138	69.0%
8	学童開設までの準備について 150点	開設までのスケジュール(工事や職員採用)は適切か。	50	38	76.0%
9		開設までの資金計画は適正か。	50	36	72.0%
10		開設後5年間の収支計画は適正か。	50	38	76.0%
		小 計	150	112	74.7%
11	職員体制について 250点	現場責任者の資格や経験など適性は十分か。	50	34	68.0%
12		放課後児童支援員を安定して配置できる体制(人数、補充体制)が整っているか。	50	28	56.0%
13		職員の資質及び保育の質の向上のため、教育体制や研修計画が充実しているか。	50	38	76.0%
14		職員に対して個人情報の保護・管理に関する教育が徹底されているか。	50	40	80.0%
15		指揮命令系統、本部との連携や支援体制などについての確に定められているか。	50	40	80.0%
		小 計	250	180	72.0%
16	危機管理について 250点	非常災害時の対応についての確に定めているか。	50	40	80.0%
17		不審者対応等の防犯対策についての確に定めているか。	50	40	80.0%
18		事件・事故時の対応についての確に定めているか。	50	40	80.0%
19		施設の衛生管理についての確に定めているか。	50	38	76.0%
20		アレルギー対応策についての確に定めているか。	50	40	80.0%
		小 計	250	198	79.2%
21	子どもの育成支援について 350点	学童の基本方針や運営理念は、国が定める「放課後児童クラブ運営指針」に沿ったものとなっているか。	50	36	72.0%
22		育成支援の方針は、子どもの発達状況や個性に即したものであるか。	50	34	68.0%
23		遊びの支援方針は、子どもの発達段階に応じた主体的な遊びができるものとなっているか。	50	36	72.0%
24		子どもの出欠席・健康管理や基本的な生活習慣の定着等、日常生活の支援方針が適切なものとなっているか。	50	34	68.0%
25		おやつの方針は、子どもが落ち着いておやつを楽しめるとともに、補食としての栄養バランスや食育について考慮したものとなっているか。	50	34	68.0%
26		発達支援児等配慮が必要な子どもについて、適切な支援方針となっているか。	50	34	68.0%
27		団体の専門性や実績を活かした優れた提案があるか。	50	38	76.0%
		小 計	350	246	70.3%
28	保護者・学校・地域・関係機関等との連携 150点	保護者と日々の連絡や情報共有を十分に行い、信頼関係が構築できるか。	50	34	68.0%
29		学校や地域、関係機関と協力関係を築くことができるか。	50	32	64.0%
30		保護者や近隣住民等からの意見・要望や苦情・相談に対応できる体制はあるか。	50	32	64.0%
		小 計	150	98	65.3%
合 計			1,500	1,114	74.3%

項番	評価項目			加点	得点	割合
	分類	説明	評価基準(得点)			
1	区内業者	区内に本店があり、対象業務区域が区内	区内に本店がある(5%を加点)	75	45	0
2	区内業者	区内に支店があり、対象業務区域が区内	区内に支店がある(3%を加点)			
3	ワーク・ライフ・バランス推進企業	足立区ワークライフバランス推進企業等に認定	推進企業に認定されている(2%を加点)	30	0	0
総 計				1,605	1,114	69.4%

順 位					1	
-----	--	--	--	--	---	--

足立区民設学童保育室設置促進補助金交付審査会 審査結果表
(東加平小学校地域)

項番	評 価 項 目		配点	事業者名	
				株式会社MIRATZ	
	分 類	説 明		得点	割合
1	運営団体について 150点	財務状況は安定しているか(税理士による財務状況調査結果を参照)。	50	36	72.0%
2		運営体制は安定しているか。	50	36	72.0%
3		学童保育室(若しくは類似施設)について豊富な運営実績を有しているか。	50	36	72.0%
		小 計	150	108	72.0%
4	学童保育室の施設 について 200点	立地が適切であるか(対象校との距離、周辺環境)。	50	32	64.0%
5		専用スペースの面積(一人あたり1.65㎡以上)が十分にあるか。	50	30	60.0%
6		必要な設備(トイレ2器以上、台所、事務スペース、静養スペース、採光)を十分に有しているか。	50	26	52.0%
7		非常災害時に対応しやすい設備(避難路(2方向以上)、非常口、非常用設備)となっているか。	50	30	60.0%
		小 計	200	118	59.0%
8	学童開設までの準備 について 150点	開設までのスケジュール(工事や職員採用)は適切か。	50	32	64.0%
9		開設までの資金計画は適正か。	50	28	56.0%
10		開設後5年間の収支計画は適正か。	50	28	56.0%
		小 計	150	88	58.7%
11	職員体制について 250点	現場責任者の資格や経験など適性は十分か。	50	36	72.0%
12		放課後児童支援員を安定して配置できる体制(人数、補充体制)が整っているか。	50	34	68.0%
13		職員の資質及び保育の質の向上のため、教育体制や研修計画が充実しているか。	50	34	68.0%
14		職員に対して個人情報の保護・管理に関する教育が徹底されているか。	50	34	68.0%
15		指揮命令系統、本部との連携や支援体制などについての的確に定められているか。	50	36	72.0%
		小 計	250	174	69.6%
16	危機管理について 250点	非常災害時の対応についての的確に定めているか。	50	38	76.0%
17		不審者対応等の防犯対策についての的確に定めているか。	50	36	72.0%
18		事件・事故時の対応についての的確に定めているか。	50	36	72.0%
19		施設の衛生管理についての的確に定めているか。	50	36	72.0%
20		アレルギー対応策についての的確に定めているか。	50	36	72.0%
		小 計	250	182	72.8%
21	子どもの育成支援に ついて 350点	学童の基本方針や運営理念は、国が定める「放課後児童クラブ運営指針」に沿ったものとなっているか。	50	34	68.0%
22		育成支援の方針は、子どもの発達状況や個性に即したものとなっているか。	50	38	76.0%
23		遊びの支援方針は、子どもの発達段階に応じた主体的な遊びができるものとなっているか。	50	36	72.0%
24		子どもの出欠席・健康管理や基本的な生活習慣の定着等、日常生活の支援方針が適切なものとなっているか。	50	36	72.0%
25		おやつの方針は、子どもが落ち着いておやつを楽しめるとともに、補食としての栄養バランスや食育について考慮したものとなっているか。	50	42	84.0%
26		発達支援児等配慮が必要な子どもについて、適切な支援方針となっているか。	50	34	68.0%
27		団体の専門性や実績を活かした優れた提案があるか。	50	36	72.0%
		小 計	350	256	73.1%
28	保護者・学校・地域・ 関係機関等との連携 150点	保護者と日々の連絡や情報共有を十分に行い、信頼関係が構築できるか。	50	32	64.0%
29		学校や地域、関係機関と協力関係を築くことができるか。	50	30	60.0%
30		保護者や近隣住民等からの意見・要望や苦情・相談に対応できる体制はあるか。	50	32	64.0%
		小 計	150	94	62.7%
合 計			1,500	1,020	68.0%

項番	評価項目			加点	得点	割合
	分類	説明	評価基準(得点)			
1	区内業者	区内に本店があり、対象業務区域が区内	区内に本店がある(5%を加点)	75	45	0
2	区内業者	区内に支店があり、対象業務区域が区内	区内に支店がある(3%を加点)			
3	ワーク・ライフ・バランス推進企業	足立区ワークライフバランス推進企業等に認定	推進企業に認定されている(2%を加点)	30	0	0
総 計				1,605	1,020	63.6%

順 位					1	
-----	--	--	--	--	---	--

足立区民設学童保育室設置促進補助金交付審査会 審査結果表
(島根小学校地域)

項番	評 価 項 目		配点	事業者名	
				株式会社MIRATZ	
	分 類	説 明		得点	割合
1	運営団体について 150点	財務状況は安定しているか(税理士による財務状況調査結果を参照)。	50	36	72.0%
2		運営体制は安定しているか。	50	36	72.0%
3		学童保育室(若しくは類似施設)について豊富な運営実績を有しているか。	50	36	72.0%
		小 計	150	108	72.0%
4	学童保育室の施設 について 200点	立地が適切であるか(対象校との距離、周辺環境)。	50	30	60.0%
5		専用スペースの面積(一人あたり1.65㎡以上)が十分にあるか。	50	38	76.0%
6		必要な設備(トイレ2器以上、台所、事務スペース、静養スペース、採光)を十分に有しているか。	50	38	76.0%
7		非常災害時に対応しやすい設備(避難路(2方向以上)、非常口、非常用設備)となっているか。	50	36	72.0%
		小 計	200	142	71.0%
8	学童開設までの準備 について 150点	開設までのスケジュール(工事や職員採用)は適切か。	50	30	60.0%
9		開設までの資金計画は適正か。	50	28	56.0%
10		開設後5年間の収支計画は適正か。	50	28	56.0%
		小 計	150	86	57.3%
11	職員体制について 250点	現場責任者の資格や経験など適性は十分か。	50	36	72.0%
12		放課後児童支援員を安定して配置できる体制(人数、補充体制)が整っているか。	50	34	68.0%
13		職員の資質及び保育の質の向上のため、教育体制や研修計画が充実しているか。	50	34	68.0%
14		職員に対して個人情報の保護・管理に関する教育が徹底されているか。	50	34	68.0%
15		指揮命令系統、本部との連携や支援体制などについての的確に定められているか。	50	36	72.0%
		小 計	250	174	69.6%
16	危機管理について 250点	非常災害時の対応についての的確に定めているか。	50	36	72.0%
17		不審者対応等の防犯対策についての的確に定めているか。	50	36	72.0%
18		事件・事故時の対応についての的確に定めているか。	50	36	72.0%
19		施設の衛生管理についての的確に定めているか。	50	36	72.0%
20		アレルギー対応策についての的確に定めているか。	50	36	72.0%
		小 計	250	180	72.0%
21	子どもの育成支援に ついて 350点	学童の基本方針や運営理念は、国が定める「放課後児童クラブ運営指針」に沿ったものとなっているか。	50	34	68.0%
22		育成支援の方針は、子どもの発達状況や個性に即したものとなっているか。	50	38	76.0%
23		遊びの支援方針は、子どもの発達段階に応じた主体的な遊びができるものとなっているか。	50	36	72.0%
24		子どもの出欠席・健康管理や基本的な生活習慣の定着等、日常生活の支援方針が適切なものとなっているか。	50	36	72.0%
25		おやつの方針は、子どもが落ち着いておやつを楽しめるとともに、補食としての栄養バランスや食育について考慮したものとなっているか。	50	42	84.0%
26		発達支援児等配慮が必要な子どもについて、適切な支援方針となっているか。	50	34	68.0%
27		団体の専門性や実績を活かした優れた提案があるか。	50	36	72.0%
		小 計	350	256	73.1%
28	保護者・学校・地域・ 関係機関等との連携 150点	保護者と日々の連絡や情報共有を十分に行い、信頼関係が構築できるか。	50	32	64.0%
29		学校や地域、関係機関と協力関係を築くことができるか。	50	30	60.0%
30		保護者や近隣住民等からの意見・要望や苦情・相談に対応できる体制はあるか。	50	32	64.0%
		小 計	150	94	62.7%
合 計			1,500	1,040	69.3%

項番	評価項目			加点	得点	割合
	分類	説明	評価基準(得点)			
1	区内業者	区内に本店があり、対象業務区域が区内	区内に本店がある(5%を加点)	75	45	0
2	区内業者	区内に支店があり、対象業務区域が区内	区内に支店がある(3%を加点)			
3	ワーク・ライフ・バランス推進企業	足立区ワークライフバランス推進企業等に認定	推進企業に認定されている(2%を加点)	30	0	
総 計				1,605	1,040	64.8%

順 位					1	
-----	--	--	--	--	---	--

足立区民設学童保育室設置促進補助金交付審査会 審査結果表
(江北小学校地域)

項番	評 価 項 目		配点	事業者名 株式会社ディアログ		事業者名 E社		事業者名 C社		事業者名 D社	
	分 類	説 明		得点	割合	得点	割合	得点	割合	得点	割合
1	運営団体について 150点	財務状況は安定しているか(税理士による財務状況調査結果を参照)。	50	34	68.0%	46	92.0%	34	68.0%	34	68.0%
2		運営体制は安定しているか。	50	36	72.0%	44	88.0%	34	68.0%	34	68.0%
3		学童保育室(若しくは類似施設)について豊富な運営実績を有しているか。	50	34	68.0%	38	76.0%	36	72.0%	32	64.0%
		小 計	150	104	69.3%	128	85.3%	104	69.3%	100	66.7%
4	学童保育室の施設 について 200点	立地が適切であるか(対象校との距離、周辺環境)。	50	40	80.0%	40	80.0%	40	80.0%	40	80.0%
5		専用スペースの面積(一人あたり1.65㎡以上)が十分にあるか。	50	44	88.0%	44	88.0%	44	88.0%	44	88.0%
6		必要な設備(トイレ2器以上、台所、事務スペース、静養スペース、採光)を十分に有しているか。	50	40	80.0%	38	76.0%	40	80.0%	38	76.0%
7		非常災害時に対応しやすい設備(避難路(2方向以上)、非常口、非常用設備)となっているか。	50	40	80.0%	38	76.0%	38	76.0%	38	76.0%
		小 計	200	164	82.0%	160	80.0%	162	81.0%	160	80.0%
8	学童開設までの準備 について 150点	開設までのスケジュール(工事や職員採用)は適切か。	50	32	64.0%	30	60.0%	32	64.0%	30	60.0%
9		開設までの資金計画は適正か。	50	32	64.0%	28	56.0%	28	56.0%	32	64.0%
10		開設後5年間の収支計画は適正か。	50	30	60.0%	32	64.0%	28	56.0%	30	60.0%
		小 計	150	94	62.7%	90	60.0%	88	58.7%	92	61.3%
11	職員体制について 250点	現場責任者の資格や経験など適性は十分か。	50	42	84.0%	36	72.0%	36	72.0%	28	56.0%
12		放課後児童支援員を安定して配置できる体制(人数、補充体制)が整っているか。	50	42	84.0%	32	64.0%	34	68.0%	28	56.0%
13		職員の資質及び保育の質の向上のため、教育体制や研修計画が充実しているか。	50	38	76.0%	34	68.0%	34	68.0%	26	52.0%
14		職員に対して個人情報の保護・管理に関する教育が徹底されているか。	50	38	76.0%	34	68.0%	34	68.0%	30	60.0%
15		指揮命令系統、本部との連携や支援体制などについての確に定められているか。	50	36	72.0%	34	68.0%	36	72.0%	30	60.0%
		小 計	250	196	78.4%	170	68.0%	174	69.6%	142	56.8%
16	危機管理について 250点	非常災害時の対応についての確に定めているか。	50	38	76.0%	36	72.0%	34	68.0%	34	68.0%
17		不審者対応等の防犯対策についての確に定めているか。	50	38	76.0%	34	68.0%	34	68.0%	32	64.0%
18		事件・事故時の対応についての確に定めているか。	50	38	76.0%	36	72.0%	34	68.0%	32	64.0%
19		施設の衛生管理についての確に定めているか。	50	36	72.0%	36	72.0%	34	68.0%	34	68.0%
20		アレルギー対応策についての確に定めているか。	50	38	76.0%	32	64.0%	34	68.0%	34	68.0%
		小 計	250	188	75.2%	174	69.6%	170	68.0%	166	66.4%
21	子どもの育成支援に ついて 350点	学童の基本方針や運営理念は、国が定める「放課後児童クラブ運営指針」に沿ったものとなっているか。	50	38	76.0%	34	68.0%	34	68.0%	32	64.0%
22		育成支援の方針は、子どもの発達状況や個性に即したのものとなっているか。	50	36	72.0%	36	72.0%	38	76.0%	32	64.0%
23		遊びの支援方針は、子どもの発達段階に応じた主体的な遊びができるものとなっているか。	50	38	76.0%	36	72.0%	36	72.0%	30	60.0%
24		子どもの出欠席・健康管理や基本的な生活習慣の定着等、日常生活の支援方針が適切なものとなっているか。	50	38	76.0%	38	76.0%	36	72.0%	32	64.0%
25		おやつの方針は、子どもが落ち着いておやつを楽しめるとともに、補食としての栄養バランスや食育について考慮したものとなっているか。	50	36	72.0%	36	72.0%	42	84.0%	36	72.0%
26		発達支援児等配慮が必要な子どもについて、適切な支援方針となっているか。	50	34	68.0%	32	64.0%	32	64.0%	30	60.0%
27		団体の専門性や実績を活かした優れた提案があるか。	50	44	88.0%	34	68.0%	36	72.0%	28	56.0%
		小 計	350	264	75.4%	246	70.3%	254	72.6%	220	62.9%
28	保護者・学校・地域・ 関係機関等との連携 150点	保護者と日々の連絡や情報共有を十分に行い、信頼関係が構築できるか。	50	34	68.0%	34	68.0%	32	64.0%	30	60.0%
29		学校や地域、関係機関と協力関係を築くことができるか。	50	34	68.0%	32	64.0%	30	60.0%	30	60.0%
30		保護者や近隣住民等からの意見・要望や苦情・相談に対応できる体制はあるか。	50	32	64.0%	34	68.0%	32	64.0%	30	60.0%
		小 計	150	100	66.7%	100	66.7%	94	62.7%	90	60.0%
合 計			1,500	1,110	74.0%	1,068	71.2%	1,046	69.7%	970	64.7%

項番	分類	説明	評価基準(得点)	加点	得点	割合	得点	割合	得点	割合	得点	割合
1	区内業者	区内に本店があり、対象業務区域が区内	区内に本店がある(5%を加点)	75	45	0		0		0		
2	区内業者	区内に支店があり、対象業務区域が区内	区内に支店がある(3%を加点)									
3	ワーク・ライフ・バランス推進企業	足立区ワークライフバランス推進企業等に認定	推進企業に認定されている(2%を加点)	30		0	0.0%	19		0		
総 計				1,605	1,110	69.2%	1,087	67.7%	1,046	65.2%	970	60.4%

順 位					1		2		3		4	
-----	--	--	--	--	---	--	---	--	---	--	---	--

令和7年度 第2回 足立区地域保健福祉推進協議会
「子ども支援専門部会」

令和7年12月16日

【 審議・調査事項 報告事項 情報連絡事項 】

件 名	学童保育室及び放課後子ども教室運営業務委託の公募型プロポーザルによる事業者の特定結果について																																	
所 管 部 課	子ども家庭部 学童保育課、学校運営部 青少年課																																	
内 容	<p>学童保育室及び放課後子ども教室運営業務委託プロポーザル選定委員会における審査の結果、以下の事業者を契約候補者（契約の相手方）として特定したので報告する。</p> <p>1 業務名 学童保育室及び放課後子ども教室運営業務委託</p> <p>2 業務目的 （１）放課後の居場所を活用し、生活や遊び等の支援を通して子どもの健全育成を図る。 （２）子どもたちに安全で充実した活動の場を提供し、学習や体験プログラムを通して学びや交流の促進を図る。</p> <p>3 対象施設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>実施小学校</th><th>学童保育室名</th><th>放課後子ども教室名</th><th>一体的運用の有無</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>千寿第八小</td><td>せきや学童</td><td>1008 キッズ</td><td>○</td></tr> <tr> <td>2</td><td>東栗原小</td><td>東栗原学童</td><td>ひがくり YY クラブ</td><td>○</td></tr> <tr> <td>3</td><td>大谷田小</td><td>なかよし学童</td><td>大谷田キッズぱれっと</td><td>○</td></tr> <tr> <td>4</td><td>島根小</td><td>しまねっ子学童</td><td>島根っ子ぱれっと</td><td></td></tr> <tr> <td>5</td><td>中島根小</td><td>中島根学童</td><td>グリーンパレットなかしまね</td><td></td></tr> </tbody> </table>					実施小学校	学童保育室名	放課後子ども教室名	一体的運用の有無	1	千寿第八小	せきや学童	1008 キッズ	○	2	東栗原小	東栗原学童	ひがくり YY クラブ	○	3	大谷田小	なかよし学童	大谷田キッズぱれっと	○	4	島根小	しまねっ子学童	島根っ子ぱれっと		5	中島根小	中島根学童	グリーンパレットなかしまね	
	実施小学校	学童保育室名	放課後子ども教室名	一体的運用の有無																														
1	千寿第八小	せきや学童	1008 キッズ	○																														
2	東栗原小	東栗原学童	ひがくり YY クラブ	○																														
3	大谷田小	なかよし学童	大谷田キッズぱれっと	○																														
4	島根小	しまねっ子学童	島根っ子ぱれっと																															
5	中島根小	中島根学童	グリーンパレットなかしまね																															

4 特定した相手方

	実施小学校	法人名（法人所在地）・代表者	申込事業者
1	千寿第八小	株式会社学研ココファン・ナーサリー （品川区西五反田 2-11-8 学研ビル） 代表取締役 山崎 知恵	5 事業者
2	東栗原小	株式会社テノ・コーポレーション （福岡市博多区上呉服町 10-10 呉服町ビジネスセンター5 階） 代表取締役 池内 比呂子	3 事業者
3	大谷田小	株式会社明日葉 （港区三田 3-5-19 住友不動産東京三田ガーデンタワー） 代表取締役 大隈 太嘉志	3 事業者
4	島根小	株式会社テノ・コーポレーション （福岡市博多区上呉服町 10-10 呉服町ビジネスセンター5 階） 代表取締役 池内 比呂子	3 事業者
5	中島根小	ライクキッズ株式会社 （渋谷区道玄坂 1-12-1 渋谷マークシティウエスト） 代表取締役 岡本 泰彦	7 事業者

5 提案価格

	実施場所	提案限度額	最低制限価格
1	千寿第八小	85,065,000 円	無
2	東栗原小	58,333,000 円	
3	大谷田小	58,333,000 円	
4	島根小	26,732,000 円	
5	中島根小	26,732,000 円	

6 履行期間

令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで

※ 履行状況が良好な場合に限り、最長 4 回まで（令和 13 年 3 月 31 日まで）契約を更新することができる。

7 特筆すべき提案概要、評価した理由・ポイント

（1）千寿第八小学校

ア 子どもの意見を尊重する取り組みが多く見られた。

イ 学童保育室と放課後子ども教室の一体的取り組みに具体性が見られた。

(2) 東栗原小学校

ア 体験プログラムが豊富で選択肢が多いことが期待できる。

イ 提案が具体的であり、実現可能性が高い。

(3) 大谷田小学校

ア 提案が具体的であり、実現可能性が高い。

イ 保護者として安心して利用できる取り組みが期待できる。

(4) 島根小学校

ア 人材確保について工夫した取り組みが提案されていた。

イ 継続的に安定した運営が期待できる。

(5) 中島根小学校

ア 現場でのきめ細やかな対応が期待できる。

イ アレルギー対策について、効果的な取り組みが見られた。

8 特定までの経緯

(1) 公募期間

令和7年8月21日から令和7年9月3日まで

(2) 選定委員会

ア 委員会開催状況

	開催日	内 容	審査事業者数
第1回	令和7年 8月18日	選定方法や評価項目等の確認	—
第2回	令和7年 9月25日	第一次選考(運営事業計画書提出者の選定：書類審査)	12事業者
第3回	令和7年 10月31日、 11月6日	第二次選考(事業者の特定：プレゼンテーション、ヒアリング)	10事業者

イ 委員構成(計5名)

種 別	氏 名	役 職 等
学識 経験者	旦 直子 【委員長】	帝京科学大学 教育人間科学部 幼児保育学科教授
区 民	高橋 将郎	足立区青少年委員会会長
	山口 真弘	足立区立小学校PTA連合会副会長
区職員	物江 耕一朗	学校運営部学校支援課長
	小宮 舞子	政策経営部SDGs・協創推進課長

ウ 審査項目及び審査結果

資料「学童保育室及び放課後子ども教室運営業務委託プロポーザル運営事業計画書提出者選定結果（第一次）及び運営事業計画書特定結果（第二次）」（別紙）のとおり

9 今後のスケジュール

年 月	内 容
令和7年12月	契約候補者と仕様書協議
令和8年1月	委託契約締結
令和8年4月	学童保育室及び放課後子ども教室運営開始

学童保育室及び放課後子ども教室運営業務委託プロポーザル運営事業計画書提出者選定結果（第一次）

1 運営事業計画書提出者選定結果（第一次）

【千寿第八小学校】

項番	評価項目	評価の視点	指標	配点	(株)学研コ コファン・ ナーサリー	H 社	J 社	K 社	L 社
1	組織の安定性	経営基盤及び経営状況は良好か	① 資本金 ② 売上高 ③ 財務諸表	150	148	106	120	116	148
2	運営の安定性	業務遂行体制は妥当か	① 職員体制 ② 資格の有無	100	84	74	66	62	78
3	運営の実績	当該業務を遂行するために必要な知識及び良好かつ豊富な運営実績を有しているか	同種・類似業務の実績	150	93	114	114	105	132
4	地域精通度	対象エリア地域性を熟知しているか	近隣エリアにおける請負実績	100	72	64	84	76	84
5	(区内業者加点)	区内に本店のある業者 + 10%			—	—	—	—	—
総 合 計				500	397	358	384	359	442
選 定 結 果					選定		選定		選定

※ 総合計の 6 割となる 300 点以上が選定対象。運営事業計画書提出者の選定（第一次）の点数は、運営事業計画書特定のための評価点（第二次）に加点しない。

【東栗原小学校】

項番	評価項目	評価の視点	指標	配点	C 社	(株)テノ. コーポレーション	K 社
1	組織の安定性	経営基盤及び経営状況は良好か	① 資本金 ② 売上高 ③ 財務諸表	150	106	110	116
2	運営の安定性	業務遂行体制は妥当か	① 職員体制 ② 資格の有無	100	54	74	64
3	運営の実績	当該業務を遂行するために必要な知識及び良好かつ豊富な運営実績を有しているか	同種・類似業務の実績	150	114	114	105
4	地域精通度	対象エリア地域性を熟知しているか	近隣エリアにおける請負実績	100	72	60	80
5	(区内業者加点)	区内に本店のある業者 + 10%			—	—	—
総 合 計				500	346	358	365
選 定 結 果					選定	選定	選定

※ 総合計の 6 割となる 300 点以上が選定対象。運営事業計画書提出者の選定（第一次）の点数は、運営事業計画書特定のための評価点（第二次）に加点しない。

【大谷田小学校】

項番	評価項目	評価の視点	指標	配点	(株)明日葉	D 社	H 社
1	組織の安定性	経営基盤及び経営状況は良好か	① 資本金 ② 売上高 ③ 財務諸表	150	106	102	104
2	運営の安定性	業務遂行体制は妥当か	① 職員体制 ② 資格の有無	100	50	72	76
3	運営の実績	当該業務を遂行するために必要な知識及び良好かつ豊富な運営実績を有しているか	同種・類似業務の実績	150	114	102	120
4	地域精通度	対象エリア地域性を熟知しているか	近隣エリアにおける請負実績	100	72	64	68
5	(区内業者加点)	区内に本店のある業者 + 10%			—	—	—
総 合 計				500	342	340	368
選 定 結 果					選定	選定	選定

※ 総合計の6割となる300点以上が選定対象。運営事業計画書提出者の選定（第一次）の点数は、運営事業計画書特定のための評価点（第二次）に加点しない。

【島根小学校】

項番	評価項目	評価の視点	指標	配点	A 社	E 社	(株)テノ. コーポレーション
1	組織の安定性	経営基盤及び経営状況は良好か	① 資本金 ② 売上高 ③ 財務諸表	150	110	—	106
2	運営の安定性	業務遂行体制は妥当か	① 職員体制 ② 資格の有無	100	72	—	80
3	運営の実績	当該業務を遂行するために必要な知識及び良好かつ豊富な運営実績を有しているか	同種・類似業務の実績	150	108	—	120
4	地域精通度	対象エリア地域性を熟知しているか	近隣エリアにおける請負実績	100	80	—	68
5	(区内業者加点)	区内に本店のある業者 + 10%			—	—	—
総 合 計				500	370	—	374
選 定 結 果					選定	失格	選定

※ 総合計の 6 割となる 300 点以上が選定対象。運営事業計画書提出者の選定（第一次）の点数は、運営事業計画書特定のための評価点（第二次）に加点しない。

※ E 社は税理士による財務状況調査結果で「不適合」となったため、「失格」となった。

【中島根小学校】

項番	評価項目	評価の視点	指標	配点	A 社	ライキッ ズ(株)	D 社	E 社	G 社	H 社	I 社
1	組織の安定性	経営基盤及び経営状況は良好か	① 資本金 ② 売上高 ③ 財務諸表	150	108	116	104	—	148	106	146
2	運営の安定性	業務遂行体制は妥当か	① 職員体制 ② 資格の有無	100	80	66	68	—	66	78	52
3	運営の実績	当該業務を遂行するために必要な知識及び良好かつ豊富な運営実績を有しているか	同種・類似業務の実績	150	108	135	96	—	132	120	93
4	地域精通度	対象エリア地域性を熟知しているか	近隣エリアにおける請負実績	100	80	76	56	—	84	60	76
5	(区内業者加点)	区内に本店のある業者 + 10%			—	—	—	—	—	—	—
総 合 計				500	376	393	324	—	430	364	367
選 定 結 果					選定	選定		失格	選定		

※ 総合計の6割となる300点以上が選定対象。運営事業計画書提出者の選定（第一次）の点数は、運営事業計画書特定のための評価点（第二次）に加点しない。

※ E社は税理士による財務状況調査結果で「不適合」となったため、「失格」となった。

学童保育室及び放課後子ども教室運営業務委託プロポーザル運営事業計画書特定結果（第二次）

2 運営事業計画書特定結果（第二次）

【千寿第八小学校】

項番	評価項目	評価の視点	配点	(株)学研 ココファン・ ナースリー	J 社	L 社
1	運営方針	学童保育室及び放課後子ども教室に対する役割や機能、コンセプト、展望等は的確であるか。	20	18	18	20
2		事業者の特性・専門性、ノウハウを活用した提案内容になっているか。	20	16	18	18
3	運営の取り組み	児童の健全育成を促すために、また、児童が放課後を過ごす魅力のある場所とするために、学童保育室及び放課後子ども教室それぞれの視点が十分に考慮されているか。	20	19	18	18
4		「芸術・文化」「体験」「スポーツ」等の各分野において多彩なプログラム体験活動等を実施する計画があるか。	20	19	20	15
5		健康管理、基本的生活習慣等の日常生活の支援及び質の向上に対する取り組みがされているか。	20	17	18	16
6	児童への対応	児童が学童保育室や放課後子ども教室を利用しやすくなるような工夫が考えられているか。	25	22	22	22
7		育成支援方針や子どもが問題行動をした場合の対処法等が適切にとられているか。	25	20	22	20
8		発達支援児等、特別な支援が必要な児童に対しての配慮について具体性があるか。	25	22	23	22
9	学校・地域及び各関係 機関との連携	児童の状況把握、より良い支援、事業の円滑な運営にあたり、学校と連携がされているか。	25	24	19	21
10		地域からより多くの事業協力員を得るための提案や事業協力員と連携して、具体的な事業展開が期待できるか。	25	23	20	20
11		児童の健全な育成に関わる足立区の関係機関の役割や情報を把握しているか。	20	20	16	16
12	保護者への対応	保護者への情報提供、情報共有、トラブル発生時の対応や苦情処理の取り組みがされているか。	25	22	22	22
13		利用者に直接意見を聴き、利用者側の視点に立って評価・改善に取り組む姿勢があるか。	25	22	21	22
14		保護者との日常的なコミュニケーションを円滑に進めるための工夫がなされているか。	25	22	20	19
15	危機管理	子どもの事故やケガの防止策、感染症対策について、十分に定められているか。	25	23	23	22
16		おやつ提供に関する安全面、衛生面への配慮をしているか。 また、食物アレルギーのある子どもに対して、事故防止に対する取り組みがされているか。	25	23	23	23

項番	評価項目	評価の視点	配点	(株)学研 ココファン・ ナーサリー	J 社	L 社
1 7	危機管理	防犯体制や、災害時等の対応方針を明確にしているか。	20	17	15	18
1 8	個人情報	個人情報の保管や取り扱いについて具体的に定めているか。	20	18	18	18
1 9		個人情報の保護・管理に関する教育方針を持っているか。	20	18	18	19
2 0	運営体制	職員の資質向上のための研修など、育成計画が定められているか。	20	19	19	19
2 1		職員にコンプライアンス（法令遵守）についての教育が図られているか。	20	19	18	19
2 2		指揮命令系統、本部との連携などについての的確に定められているか。	20	18	19	19
2 3	プレゼンテーション	説明が論理的で説得力があるか。	10	9	9	8
2 4	(区内業者加点)	区内に本店があり対象業務区域が区内である＋５％、区内に本店があり対象業務区域が区外である＋４％、区内に支店があり対象業務区域が区内である＋３％、区内に支店があり対象業務区域が区外である＋２％		—	—	—
総 合 計			500	450	439	436
特 定 結 果				特定		

【東栗原小学校】

項番	評価項目	評価の視点	配点	C 社	(株)テノ、コーポレーション	K 社
1	運営方針	学童保育室及び放課後子ども教室に対する役割や機能、コンセプト、展望等は的確であるか。	20	19	18	18
2		事業者の特性・専門性、ノウハウを活用した提案内容になっているか。	20	19	17	17
3	運営の取り組み	児童の健全育成を促すために、また、児童が放課後を過ごす魅力のある場所とするために、学童保育室及び放課後子ども教室それぞれの視点が十分に考慮されているか。	20	18	20	17
4		「芸術・文化」「体験」「スポーツ」等の各分野において多彩なプログラム体験活動等を実施する計画があるか。	20	18	20	19
5		健康管理、基本的生活習慣等の日常生活の支援及び質の向上に対する取り組みがされているか。	20	17	17	17
6	児童への対応	児童が学童保育室や放課後子ども教室を利用しやすくなるような工夫が考えられているか。	25	22	24	21
7		育成支援方針や子どもが問題行動をした場合の対処法等が適切にとられているか。	25	20	22	20
8		発達支援児等、特別な支援が必要な児童に対しての配慮について具体性があるか。	25	19	24	19
9	学校・地域及び各関係機関との連携	児童の状況把握、より良い支援、事業の円滑な運営にあたり、学校と連携がされているか。	25	22	22	20
10		地域からより多くの事業協力員を得るための提案や事業協力員と連携して、具体的な事業展開が期待できるか。	25	22	23	20
11		児童の健全な育成に関わる足立区の関係機関の役割や情報を把握しているか。	20	16	17	16
12	保護者への対応	保護者への情報提供、情報共有、トラブル発生時の対応や苦情処理の取り組みがされているか。	25	22	22	20
13		利用者に直接意見を聴き、利用者側の視点に立って評価・改善に取り組む姿勢があるか。	25	22	23	20
14		保護者との日常的なコミュニケーションを円滑に進めるための工夫がなされているか。	25	20	22	19
15	危機管理	子どもの事故やケガの防止策、感染症対策について、十分に定められているか。	25	23	22	23
16		おやつを提供に関する安全面、衛生面への配慮をしているか。 また、食物アレルギーのある子どもに対して、事故防止に対する取り組みがされているか。	25	22	24	23
17		防犯体制や、災害時等の対応方針を明確にしているか。	20	15	19	15
18	個人情報	個人情報の保管や取り扱いについて具体的に定めているか。	20	19	19	18
19		個人情報の保護・管理に関する教育方針を持っているか。	20	18	20	19

項番	評価項目	評価の視点	配点	C 社	(株)テノ. コー ポレーション	K 社
2 0	運営体制	職員の資質向上のための研修など、育成計画が定められているか。	20	17	19	17
2 1		職員にコンプライアンス（法令遵守）についての教育が図られているか。	20	18	19	18
2 2		指揮命令系統、本部との連携などについての的確に定められているか。	20	18	19	19
2 3	プレゼンテーション	説明が論理的で説得力があるか。	10	10	10	8
2 4	（区内業者加点）	区内に本店があり対象業務区域が区内である＋５％、区内に本店があり対象業務区域が区外である＋４％、区内に支店があり対象業務区域が区内である＋３％、区内に支店があり対象業務区域が区外である＋２％		—	—	—
総 合 計			500	436	462	423
特 定 結 果					特定	

【大谷田小学校】

項番	評価項目	評価の視点	配点	(株)明日葉	D 社	H 社
1	運営方針	学童保育室及び放課後子ども教室に対する役割や機能、コンセプト、展望等は的確であるか。	16	14	16	15
2		事業者の特性・専門性、ノウハウを活用した提案内容になっているか。	16	15	15	15
3	運営の取り組み	児童の健全育成を促すために、また、児童が放課後を過ごす魅力のある場所とするために、学童保育室及び放課後子ども教室それぞれの視点が十分に考慮されているか。	16	15	14	16
4		「芸術・文化」「体験」「スポーツ」等の各分野において多彩なプログラム体験活動等を実施する計画があるか。	16	14	13	16
5		健康管理、基本的生活習慣等の日常生活の支援及び質の向上に対する取り組みがされているか。	16	13	13	14
6	児童への対応	児童が学童保育室や放課後子ども教室を利用しやすくなるような工夫が考えられているか。	20	18	16	18
7		育成支援方針や子どもが問題行動をした場合の対処法等が適切にとられているか。	20	18	16	18
8		発達支援児等、特別な支援が必要な児童に対しての配慮について具体性があるか。	20	16	16	18
9	学校・地域及び各関係機関との連携	児童の状況把握、より良い支援、事業の円滑な運営にあたり、学校と連携がされているか。	20	19	15	16
10		地域からより多くの事業協力員を得るための提案や事業協力員と連携して、具体的な事業展開が期待できるか。	20	20	15	17
11		児童の健全な育成に関わる足立区の関係機関の役割や情報を把握しているか。	16	15	15	13
12	保護者への対応	保護者への情報提供、情報共有、トラブル発生時の対応や苦情処理の取り組みがされているか。	20	18	18	16
13		利用者に直接意見を聴き、利用者側の視点に立って評価・改善に取り組む姿勢があるか。	20	18	17	16
14		保護者との日常的なコミュニケーションを円滑に進めるための工夫がなされているか。	20	18	18	16
15	危機管理	子どもの事故やケガの防止策、感染症対策について、十分に定められているか。	20	19	19	19
16		おやつ提供に関する安全面、衛生面への配慮をしているか。 また、食物アレルギーのある子どもに対して、事故防止に対する取り組みがされているか。	20	20	18	19
17		防犯体制や、災害時等の対応方針を明確にしているか。	16	16	15	16
18	個人情報	個人情報の保管や取り扱いについて具体的に定めているか。	16	14	15	15
19		個人情報の保護・管理に関する教育方針を持っているか。	16	13	16	15

項番	評価項目	評価の視点	配点	(株)明日葉	D 社	H 社
2 0	運営体制	職員の資質向上のための研修など、育成計画が定められているか。	16	13	14	15
2 1		職員にコンプライアンス（法令遵守）についての教育が図られているか。	16	14	14	15
2 2		指揮命令系統、本部との連携などについての的確に定められているか。	16	14	15	15
2 3	プレゼンテーション	説明が論理的で説得力があるか。	8	8	6	8
2 4	(区内業者加点)	区内に本店があり対象業務区域が区内である＋５％、区内に本店があり対象業務区域が区外である＋４％、区内に支店があり対象業務区域が区内である＋３％、区内に支店があり対象業務区域が区外である＋２％		—	—	—
総 合 計			400	362	349	361
特 定 結 果				特定		

※ 選定委員５名のうち１名が欠席となったため、配点が４００点となった。

【島根小学校】

項番	評価項目	評価の視点	配点	A 社	(株)ノ コーポレー ション
1	運営方針	学童保育室及び放課後子ども教室に対する役割や機能、コンセプト、展望等は的確であるか。	16	12	15
2		事業者の特性・専門性、ノウハウを活用した提案内容になっているか。	16	12	15
3	運営の取り組み	児童の健全育成を促すために、また、児童が放課後を過ごす魅力のある場所とするために、学童保育室及び放課後子ども教室それぞれの視点が十分に考慮されているか。	16	11	16
4		「芸術・文化」「体験」「スポーツ」等の各分野において多彩なプログラム体験活動等を実施する計画があるか。	16	12	16
5		健康管理、基本的生活習慣等の日常生活の支援及び質の向上に対する取り組みがされているか。	16	12	14
6	児童への対応	児童が学童保育室や放課後子ども教室を利用しやすくなるような工夫が考えられているか。	20	14	18
7		育成支援方針や子どもが問題行動をした場合の対処法等が適切にとられているか。	20	15	18
8		発達支援児等、特別な支援が必要な児童に対しての配慮について具体性があるか。	20	14	18
9	学校・地域及び各関係 機関との連携	児童の状況把握、より良い支援、事業の円滑な運営にあたり、学校と連携がされているか。	20	13	16
10		地域からより多くの事業協力員を得るための提案や事業協力員と連携して、具体的な事業展開が期待できるか。	20	12	18
11		児童の健全な育成に関わる足立区の関係機関の役割や情報を把握しているか。	16	11	13
12	保護者への対応	保護者への情報提供、情報共有、トラブル発生時の対応や苦情処理の取り組みがされているか。	20	15	16
13		利用者に直接意見を聴き、利用者側の視点に立って評価・改善に取り組む姿勢があるか。	20	15	16
14		保護者との日常的なコミュニケーションを円滑に進めるための工夫がなされているか。	20	14	16
15	危機管理	子どもの事故やケガの防止策、感染症対策について、十分に定められているか。	20	14	19
16		おやつ提供に関する安全面、衛生面への配慮をしているか。 また、食物アレルギーのある子どもに対して、事故防止に対する取り組みがされているか。	20	15	19
17		防犯体制や、災害時等の対応方針を明確にしているか。	16	12	16
18	個人情報	個人情報の保管や取り扱いについて具体的に定めているか。	16	14	15

項番	評価項目	評価の視点	配点	A 社	(株)テノ コーポレー ション
1 9	個人情報	個人情報の保護・管理に関する教育方針を持っているか。	16	14	15
2 0	運営体制	職員の資質向上のための研修など、育成計画が定められているか。	16	14	15
2 1		職員にコンプライアンス（法令遵守）についての教育が図られているか。	16	14	15
2 2		指揮命令系統、本部との連携などについての的確に定められているか。	16	14	15
2 3	プレゼンテーション	説明が論理的で説得力があるか。	8	4	8
2 4	（区内業者加点）	区内に本店があり対象業務区域が区内である＋5％、区内に本店があり対象業務区域が区外である＋4％、区内に支店があり対象業務区域が区内である＋3％、区内に支店があり対象業務区域が区外である＋2％		—	—
総 合 計			400	297	362
特 定 結 果					特定

※ 選定委員5名のうち1名が欠席となったため、配点が400点となった。

【中島根小学校】






項番	評価項目	評価の視点	配点	A 社	ライキッ ズ(株)	G 社
1	運営方針	学童保育室及び放課後子ども教室に対する役割や機能、コンセプト、展望等は的確であるか。	20	15	19	17
2		事業者の特性・専門性、ノウハウを活用した提案内容になっているか。	20	16	18	18
3	運営の取り組み	児童の健全育成を促すために、また、児童が放課後を過ごす魅力のある場所とするために、学童保育室及び放課後子ども教室それぞれの視点が十分に考慮されているか。	20	13	19	19
4		「芸術・文化」「体験」「スポーツ」等の各分野において多彩なプログラム体験活動等を実施する計画があるか。	20	16	20	19
5		健康管理、基本的生活習慣等の日常生活の支援及び質の向上に対する取り組みがされているか。	20	15	19	20
6	児童への対応	児童が学童保育室や放課後子ども教室を利用しやすくなるような工夫が考えられているか。	25	19	24	20
7		育成支援方針や子どもが問題行動をした場合の対処法等が適切にとられているか。	25	19	23	21
8		発達支援児等、特別な支援が必要な児童に対しての配慮について具体性があるか。	25	19	23	23
9	学校・地域及び各関係 機関との連携	児童の状況把握、より良い支援、事業の円滑な運営にあたり、学校と連携がされているか。	25	16	23	21
10		地域からより多くの事業協力員を得るための提案や事業協力員と連携して、具体的な事業展開が期待できるか。	25	14	24	21
11		児童の健全な育成に関わる足立区の関係機関の役割や情報を把握しているか。	20	13	18	18
12	保護者への対応	保護者への情報提供、情報共有、トラブル発生時の対応や苦情処理の取り組みがされているか。	25	18	22	21
13		利用者に直接意見を聴き、利用者側の視点に立って評価・改善に取り組む姿勢があるか。	25	18	22	20
14		保護者との日常的なコミュニケーションを円滑に進めるための工夫がなされているか。	25	17	21	20
15	危機管理	子どもの事故やケガの防止策、感染症対策について、十分に定められているか。	25	18	23	22
16		おやつを提供に関する安全面、衛生面への配慮をしているか。 また、食物アレルギーのある子どもに対して、事故防止に対する取り組みがされているか。	25	18	23	22
17		防犯体制や、災害時等の対応方針を明確にしているか。	20	15	20	19
18	個人情報	個人情報の保管や取り扱いについて具体的に定めているか。	20	18	19	19
19		個人情報の保護・管理に関する教育方針を持っているか。	20	18	19	18

項番	評価項目	評価の視点	配点	A 社	ライキッ ス(株)	G 社
2 0	運営体制	職員の資質向上のための研修など、育成計画が定められているか。	20	17	19	18
2 1		職員にコンプライアンス（法令遵守）についての教育が図られているか。	20	17	19	19
2 2		指揮命令系統、本部との連携などについての的確に定められているか。	20	16	19	19
2 3	プレゼンテーション	説明が論理的で説得力があるか。	10	5	10	10
2 4	(区内業者加点)	区内に本店があり対象業務区域が区内である＋5％、区内に本店があり対象業務区域が区外である＋4％、区内に支店があり対象業務区域が区内である＋3％、区内に支店があり対象業務区域が区外である＋2％		—	—	—
総 合 計			500	370	466	444
特 定 結 果					特定	

令和 7 年度 第 2 回 足立区地域保健福祉推進協議会
「子ども支援専門部会」

令和 7 年 1 2 月 1 6 日

【 審議・調査事項 報告事項 情報連絡事項 】

件名	「アダチ若者会議」の実施結果について																		
所 管 部 課	あだち未来創造室 子どもの貧困対策・若年者支援課																		
内 容	若者から区の施策や要望について直接意見を聴き、区の若年者施策への反映を目指す「アダチ若者会議」を実施したため、以下のとおり報告する。																		
	1 アダチ若者会議「キミも。ミーティング～環境編～」																		
	(1) 実施概要																		
	第四次足立区環境基本計画の策定に当たり、若者の意見を集約し反映するため、環境政策課と共同で実施。																		
	<table><tr><th>項目</th><th>アウトリーチ版</th><th>公募版</th></tr><tr><td>開催日時</td><td>令和7年6月11日（水） 午後3時～5時</td><td>令和7年7月11日（金） 午後7時～9時</td></tr><tr><td>会場</td><td>足立高等学校</td><td>あやセンターぐるぐる</td></tr><tr><td>対象</td><td>足立高等学校の生徒</td><td>足立区在住・在学・在勤 ・ゆかりのある 概ね15歳から30歳の若者</td></tr><tr><td>参加者数</td><td>16名</td><td>11名（応募20名）</td></tr><tr><td>様子</td><td></td><td></td></tr></table>		項目	アウトリーチ版	公募版	開催日時	令和7年6月11日（水） 午後3時～5時	令和7年7月11日（金） 午後7時～9時	会場	足立高等学校	あやセンターぐるぐる	対象	足立高等学校の生徒	足立区在住・在学・在勤 ・ゆかりのある 概ね15歳から30歳の若者	参加者数	16名	11名（応募20名）	様子	
項目	アウトリーチ版	公募版																	
開催日時	令和7年6月11日（水） 午後3時～5時	令和7年7月11日（金） 午後7時～9時																	
会場	足立高等学校	あやセンターぐるぐる																	
対象	足立高等学校の生徒	足立区在住・在学・在勤 ・ゆかりのある 概ね15歳から30歳の若者																	
参加者数	16名	11名（応募20名）																	
様子																			
	(2) トークテーマと主な意見（詳細は、産業環境委員会の情報連絡を参照）																		
	<table><tr><td>①最近、環境の情報を見ましたか？</td><td><ul style="list-style-type: none">● 海洋プラスチック問題を英語の教科書で知った● 足立区の生ゴミ処理機の補助金の情報</td></tr><tr><td>②プラスチック分別を実施してもらうには？</td><td><ul style="list-style-type: none">● 若い単身者が分別しないと思うので、SNSで発信するのが良い● 若者は家にいないので、大学や会社へのアプローチが効果的なのではないか</td></tr><tr><td>③やってみたい環境活動は？</td><td><ul style="list-style-type: none">● ショート動画を作れば、私たちが拡散することができる● 皆が入れたくなるようなごみの分別ボックスを作る</td></tr></table>		①最近、環境の情報を見ましたか？	<ul style="list-style-type: none">● 海洋プラスチック問題を英語の教科書で知った● 足立区の生ゴミ処理機の補助金の情報	②プラスチック分別を実施してもらうには？	<ul style="list-style-type: none">● 若い単身者が分別しないと思うので、SNSで発信するのが良い● 若者は家にいないので、大学や会社へのアプローチが効果的なのではないか	③やってみたい環境活動は？	<ul style="list-style-type: none">● ショート動画を作れば、私たちが拡散することができる● 皆が入れたくなるようなごみの分別ボックスを作る											
①最近、環境の情報を見ましたか？	<ul style="list-style-type: none">● 海洋プラスチック問題を英語の教科書で知った● 足立区の生ゴミ処理機の補助金の情報																		
②プラスチック分別を実施してもらうには？	<ul style="list-style-type: none">● 若い単身者が分別しないと思うので、SNSで発信するのが良い● 若者は家にいないので、大学や会社へのアプローチが効果的なのではないか																		
③やってみたい環境活動は？	<ul style="list-style-type: none">● ショート動画を作れば、私たちが拡散することができる● 皆が入れたくなるようなごみの分別ボックスを作る																		

(3) 今後の方針



ア 活発な意見交換やアイデア出しにとどまらず、参加者自身の「やってみよう」という気持ちにつながる会となった。

イ 今後も、他所管から募ったテーマによる「アダチ若者会議」を実施し、若者の区政参画や行動変容につながる機会を創出していく。

2 アダチ若者会議「キミも。ミーティング～こども計画編～」

(1) 実施概要

足立区こども計画の策定に当たり、計画に掲げるもっとも大切な考えである「基本理念（案）」について若者から意見をもらう。

項目	アウトリーチ版
開催日時	令和7年7月15日（火）午後1時～午後3時
会場	青井高等学校
対象	青井高等学校の生徒
参加者数	12名
様子	 

【基本理念（案）】

子ども・若者のウェルビーイングをともに考え、
生まれ育った環境に左右されない未来に向かって、
ともに進むアダチをつくっていく

(2) トークテーマと主な意見

基本理念（案）に掲げる言葉のイメージについて意見を出してもらった後、トークテーマ①、②の意見を聴いた。

①理念（案） についてどう思うか？	<ul style="list-style-type: none">● 足立区の理念が見えてくるので好きです● どんな計画なんだろう。何をしてくれるのかなと気になるような理念になっている● 書いていることが多い。パッと見たときに理解できなかった● ウェルビーイングの意味がわからないのではないかな
②こども計画 を若者に知ってもらう には？	<ul style="list-style-type: none">● コンビニで売っているお茶のラベルなどでPR● ショート動画を作る● 分厚い計画の冊子だと手に取らないため、基本計画のこども版のようなものをつくる● こどもが取り組む活動（俳句、交通安全ポスターコンクールなどのような企画）に参加してもらいながら届けていく

(3) 今後の方針

若者から出てきた意見を参考に、計画を策定していく。

令和 7 年度 第 2 回 足立区地域保健福祉推進協議会
「子ども支援専門部会」

令和 7 年 1 2 月 1 6 日

【 審議・調査事項 報告事項 情報連絡事項 】

件 名	足立区こども計画策定状況及び今後のスケジュールについて
所 管 部 課	あだち未来創造室 子どもの貧困対策・若年者支援課
内 容	<p>足立区こども計画審議会から答申が提出された。ついては、内容等に関して以下のとおり報告する。</p> <p>1 足立区こども計画審議会答申について</p> <p>令和 7 年 9 月 4 日付、足立区こども計画審議会からこども計画に関する答申を受領した。</p> <p>(1) 答申の内容</p> <p>別添資料「足立区こども計画について（答申）」参照</p> <p>(2) 答申の主なポイント</p> <p>ア 子どもの貧困対策に重点を置いた計画とすべき</p> <p>イ 子ども・若者のウェルビーイング（※）を高めることが重要</p> <p>ウ 子ども・若者の意見表明・参画機会を創出すること</p> <p>※ 子どもや若者が心も体も健やかで、まわりの人とのつながりを感じながら、自分らしく幸せに生きていける状態</p> <p>(3) こども計画の方向性</p> <p>ア 基本理念</p> <p>「生まれ育った環境に左右されない未来に向かって、子ども・若者のウェルビーイングをともに考え、ともに進むアダチをつくっていく」</p> <p>イ 計画の柱</p> <p>【柱 1】すべての子ども・若者の生き抜く力を育む</p> <p>【柱 2】安心して子どもを産み育てられる環境を充実させる</p> <p>【柱 3】地域全体で子どもの成長を支える</p> <p>ウ こども計画において必要な視点</p> <p>(ア) 子ども・若者等の「意見表明と参画機会の創出」</p> <p>(イ) 必要な人に対する「伝わる情報発信」</p> <p>(ウ) 多様なニーズや課題に応じた「切れ目ない支援」</p>

2 こども計画策定までのスケジュール（予定）

予定時期	内容
令和8年1月	こども計画（素案）のパブリックコメント実施について子ども・子育て支援対策調査特別委員会に報告
令和8年1月下旬 ～2月下旬	パブリックコメント実施
令和8年3月	パブリックコメントの結果を子ども・子育て支援対策調査特別委員会に報告
令和8年4月	こども計画策定を子ども・子育て支援対策調査特別委員会に報告

3 今後の方針

足立区こども計画策定の進捗は、引き続き、子ども・子育て支援対策調査特別委員会において報告を行っていく。

令和 7 年度 第 2 回 足立区地域保健福祉推進協議会
「子ども支援専門部会」

令和 7 年 1 2 月 1 6 日

【 審議・調査事項 報告事項 情報連絡事項 】




件 名	令和 7 年度夏休み期間中における体験講座等の無料化事業（あだちワークわーく in Summer）の実施結果について																															
所 管 部 課	あだち未来創造室 子どもの貧困対策・若年者支援課																															
内 容	<p>「こどもまんなか社会」の実現に向け、未来を担うすべての子どもたちが、経験・体験を通して夢や希望を持てる契機となるよう、夏休み期間中において、一部の区有施設等の子どもの利用料等や体験講座等の無料化を実施した。実施状況について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 対象者 18 歳までの子ども</p> <p>2 区有施設等の無料化及び体験講座等の無料化の実施結果 利用者 72,810 人（昨年度 68,100 人）</p> <p>3 区有施設等の無料化</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設</th><th>利用者内訳</th><th>利用者合計 (令和 6 年度実績値)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区立プール</td><td>高校生 705 人 中学生以下 24,027 人</td><td>24,732 人 (24,513 人)</td></tr> <tr> <td>総合スポーツセンター 大・小体育室、地域体育館</td><td>高校生 786 人 中学生以下 2,672 人</td><td>3,458 人 (3,432 人)</td></tr> <tr> <td>ギャラクシティ・ まるちたいけんドーム</td><td>高校生以下</td><td>9,277 人 (8,973 人)</td></tr> <tr> <td>生物園</td><td>高校生 546 人 小中学生 6,284 人</td><td>6,830 人 (6,999 人)</td></tr> <tr> <td>北鹿浜公園バッテリーカー</td><td>小学生</td><td>1,523 人</td></tr> <tr> <td>〃 ミニ列車</td><td>小中高生</td><td>(1,643 人)</td></tr> <tr> <td>大谷田南公園ミニ列車</td><td>小中高生</td><td>410 人 (195 人)</td></tr> <tr> <td>区内銭湯（23カ所）</td><td>中高生 14,486 人 小学生 7,327 人 未就学児 1,839 人</td><td>23,652 人 (20,485 人)</td></tr> <tr> <td>郷土博物館 <u>新規</u> (※)</td><td>高校生</td><td>35 人</td></tr> </tbody> </table>		施設	利用者内訳	利用者合計 (令和 6 年度実績値)	区立プール	高校生 705 人 中学生以下 24,027 人	24,732 人 (24,513 人)	総合スポーツセンター 大・小体育室、地域体育館	高校生 786 人 中学生以下 2,672 人	3,458 人 (3,432 人)	ギャラクシティ・ まるちたいけんドーム	高校生以下	9,277 人 (8,973 人)	生物園	高校生 546 人 小中学生 6,284 人	6,830 人 (6,999 人)	北鹿浜公園バッテリーカー	小学生	1,523 人	〃 ミニ列車	小中高生	(1,643 人)	大谷田南公園ミニ列車	小中高生	410 人 (195 人)	区内銭湯（23カ所）	中高生 14,486 人 小学生 7,327 人 未就学児 1,839 人	23,652 人 (20,485 人)	郷土博物館 <u>新規</u> (※)	高校生	35 人
施設	利用者内訳	利用者合計 (令和 6 年度実績値)																														
区立プール	高校生 705 人 中学生以下 24,027 人	24,732 人 (24,513 人)																														
総合スポーツセンター 大・小体育室、地域体育館	高校生 786 人 中学生以下 2,672 人	3,458 人 (3,432 人)																														
ギャラクシティ・ まるちたいけんドーム	高校生以下	9,277 人 (8,973 人)																														
生物園	高校生 546 人 小中学生 6,284 人	6,830 人 (6,999 人)																														
北鹿浜公園バッテリーカー	小学生	1,523 人																														
〃 ミニ列車	小中高生	(1,643 人)																														
大谷田南公園ミニ列車	小中高生	410 人 (195 人)																														
区内銭湯（23カ所）	中高生 14,486 人 小学生 7,327 人 未就学児 1,839 人	23,652 人 (20,485 人)																														
郷土博物館 <u>新規</u> (※)	高校生	35 人																														



		合計	69,917 人
	<p>※ 郷土博物館は令和 7 年度から無料化のため令和 6 年度の利用者数は無し</p>		
	<p>4 体験講座等の無料化</p>		
	<p>(1) 対象講座</p>		
	<p>102 講座（令和 6 年度：81 講座）</p>		
	<p>ア 将来の夢や仕事につながる講座</p>		
	<p>イ 夏休みの自由研究等に役立つ体験</p>		
	<p>※ 主に「夏休みものづくり体験」（産業振興課実施分）の 20 講座が増</p>		
	<p>(2) 実施場所</p>		
	<p>生涯学習センター、地域学習センター、ギャラクシティ、生物園、都市農業公園、花畑公園・桜花亭、愛恵まちづくり記念館、東京芸術センター、鹿浜いきいき館、各事業者の工場 など</p>		
	<p>(3) 利用者数</p>		
	<p>2,893 人（令和 6 年度：1,860 人）</p>		
	<p>5 利用者の声（各事業のアンケート結果から）</p>		
	<p>(1) 無料だからまた来たい。</p>		
	<p>(2) 新しい友達ができて嬉しかった。</p>		
	<p>(3) 虫が好きなので、生物園で働きたいと思った。</p>		
	<p>(4) コーヒーの作り方がよくわかり、家族に自慢したい。</p>		
	<p>(5) とても楽しかった。後ろの小さい女の子に教えてあげたのも楽しかった。</p>		
	<p>(6) 工場の方が見守ってくださり、自分のペースでやりきれたことが自信になった。</p>		
	<p>6 今後の方針</p>		
	<p>施設を管轄する担当課と事業実施における課題等を整理し、次年度以降に向けて実施方法等を検討する。</p>		

令和 7 年度 第 2 回 足立区地域保健福祉推進協議会
「子ども支援専門部会」

令和 7 年 1 2 月 1 6 日

【 審議・調査事項 報告事項 情報連絡事項 】

件 名	「モギ社会人 1 年目」実施状況について				
所 管 部 課	あだち未来創造室 子どもの貧困対策・若年者支援課				
内 容	<p>夢・やりたいこと発見プロジェクト「モギ社会人 1 年目」の実施状況について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 実施概要</p> <p>社会人になると経験する企画立案、事業運営、企業訪問などを先取り体験できるプログラム。今回は、「若者の健康」をテーマに、(株)セブン-イレブン・ジャパン協力のもと、官民協働で実施。</p> <p>(1) 対象者 区内在住、在学、ゆかりのある高校生、大学生等の若者</p> <p>(2) 参加者 10 名（高校生 5 名、大学生 5 名）</p> <p>2 実施内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日程</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7 月 2 6 日（土）</td><td> <p>モギ入区式・ランチミーティングなど</p>  <p>架空部署「あだち未来創造課」への配属となる辞令交付後、「若者の健康」をテーマに区長と意見交換を実施</p> </td></tr> </tbody> </table>	日程	内容	7 月 2 6 日（土）	<p>モギ入区式・ランチミーティングなど</p>  <p>架空部署「あだち未来創造課」への配属となる辞令交付後、「若者の健康」をテーマに区長と意見交換を実施</p>
日程	内容				
7 月 2 6 日（土）	<p>モギ入区式・ランチミーティングなど</p>  <p>架空部署「あだち未来創造課」への配属となる辞令交付後、「若者の健康」をテーマに区長と意見交換を実施</p>				

日程	内容
8月2日(土)	<p>(株)セブン・イレブン・ジャパンへ企業訪問</p>  <p>「学生と社会人の違いについて」のワークショップを通じて、「仕事のやりがいや働くとは？」を考えてもらうとともに職場見学も実施</p>
8月23日(土) 9月6日(土) 9月20日(土)	<p>企画立案会議</p> 
10月4日(土)	区長へ事業提案

3 若者が事業提案した企画

(1) 事業名
#ワカモノ健康モチベ高め隊プロジェクト

(2) 目的
健康への取り組みをしていない若者に対し、健康を意識する機会を提供し、行動変容のきっかけをつくる。

(3) 提案内容(コンセプト)
栄養の見える化と特典を通じて、「やってみたい」「行ってみたい」「ゲットしたい」という若者の行動意欲を促し、健康意識を高めていく。

やってみたい	コンビニ商品を使用して、若者が「やってみたい」と思える健康レシピ(2商品の組合せ案など)を考案
行ってみたい	考案レシピを見て、コンビニに「行って試してみたい」と思わせるSNS発信やまちなかイベントの展開
ゲットしたい	考案レシピの人気投票を通じて、プレゼント商品を「ゲットしたい」方(申込者)へのさらなる情報発信とアンケートの実施

(4) 実施時期（予定）
令和8年1月



4 今後の予定

（架空部署）あだち未来創造課の若者および（株）セブン・イレブン・ジャパンと実現可能な企画を引き続き調整していく。

【詳細および最新の実施状況は、下記のサイトをご参照ください】

<https://www.city.adachi.tokyo.jp/k-hinkon/mogishakaijinichine.html>

令和7年度 第2回 足立区地域保健福祉推進協議会
「子ども支援専門部会」

令和7年12月16日

【 審議・調査事項 報告事項 **情報連絡事項** 】

件 名	あだち放課後子ども教室の令和6年度実施状況について																									
所管部課名	学校運営部 青少年課 足立区生涯学習振興公社																									
内 容	<p>あだち放課後子ども教室（以下「放課後子ども教室」）の令和6年度実施状況について、次のとおり報告する。</p> <p>1 放課後子ども教室の内容</p> <p>小学校の放課後に、校庭や体育館、教室や図書室などで子どもたちが自由に遊んだり、読書や学習活動をする場を提供する教育委員会の事業。子どもたちが安全に過ごせるように、安全管理員（見守りスタッフ）が活動の見守りをしている。地域の方々により組織された各校の実行委員会（以下、実行委員会）が運営し、足立区生涯学習振興公社がその支援を行っている。</p> <p>2 放課後子ども教室と学童保育室との違い</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>放課後子ども教室</th><th>学童保育室</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象者</td><td>当該小学校の1～6年生で、参加を希望する児童</td><td>保護者が就労等の理由で放課後の保育が必要な区内に在住または在学する小学1～6年生</td></tr> <tr> <td>利用手続</td><td>実行委員会あてに「参加登録申込書」を提出。一度登録を行えば、原則小学校卒業まで自動更新</td><td>毎年度、入室申請書を提出し、承認を受ける必要あり。</td></tr> <tr> <td>内 容</td><td>自由な遊びと学習、体験の場を提供し、放課後の子どもの安全な居場所を確保する。 ※ 実施内容（会場や対象学年など）は、各学校の状況により異なる。</td><td>適切な遊び及び生活の場を提供し児童の健全な育成を図る。</td></tr> <tr> <td>運営体制</td><td>実行委員会により運営</td><td>区直営、住区センター（委託）、指定管理、民設民営により運営</td></tr> <tr> <td>おやつ</td><td>なし</td><td>あり</td></tr> <tr> <td>金 額</td><td>無料</td><td>月額 6,000円</td></tr> <tr> <td>実施日</td><td>給食のある日の放課後のうち、実行委員会で開催日を決定 ※ 一部実行委員会では、夏休み期間にも実施。</td><td>月～土曜日 ※ 春・夏・冬休みも実施</td></tr> </tbody> </table>			放課後子ども教室	学童保育室	対象者	当該小学校の1～6年生で、参加を希望する児童	保護者が就労等の理由で放課後の保育が必要な区内に在住または在学する小学1～6年生	利用手続	実行委員会あてに「参加登録申込書」を提出。一度登録を行えば、原則小学校卒業まで自動更新	毎年度、入室申請書を提出し、承認を受ける必要あり。	内 容	自由な遊びと学習、体験の場を提供し、放課後の子どもの安全な居場所を確保する。 ※ 実施内容（会場や対象学年など）は、各学校の状況により異なる。	適切な遊び及び生活の場を提供し児童の健全な育成を図る。	運営体制	実行委員会により運営	区直営、住区センター（委託）、指定管理、民設民営により運営	おやつ	なし	あり	金 額	無料	月額 6,000円	実施日	給食のある日の放課後のうち、実行委員会で開催日を決定 ※ 一部実行委員会では、夏休み期間にも実施。	月～土曜日 ※ 春・夏・冬休みも実施
	放課後子ども教室	学童保育室																								
対象者	当該小学校の1～6年生で、参加を希望する児童	保護者が就労等の理由で放課後の保育が必要な区内に在住または在学する小学1～6年生																								
利用手続	実行委員会あてに「参加登録申込書」を提出。一度登録を行えば、原則小学校卒業まで自動更新	毎年度、入室申請書を提出し、承認を受ける必要あり。																								
内 容	自由な遊びと学習、体験の場を提供し、放課後の子どもの安全な居場所を確保する。 ※ 実施内容（会場や対象学年など）は、各学校の状況により異なる。	適切な遊び及び生活の場を提供し児童の健全な育成を図る。																								
運営体制	実行委員会により運営	区直営、住区センター（委託）、指定管理、民設民営により運営																								
おやつ	なし	あり																								
金 額	無料	月額 6,000円																								
実施日	給食のある日の放課後のうち、実行委員会で開催日を決定 ※ 一部実行委員会では、夏休み期間にも実施。	月～土曜日 ※ 春・夏・冬休みも実施																								

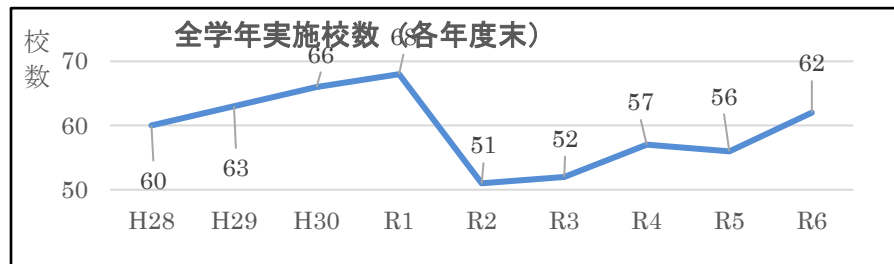
3 令和6年度実施状況

(1) 基本方針に対する達成状況

ア 放課後子ども教室運営における基本方針として、週5日かつ全学年同時開催を目指している。

イ 感染症対策のために行った学年分け等、変則的な運営方法を継続している放課後子ども教室も多く、基本方針とは大きな隔たりがある。

(2) 全学年(1～6年生)実施校 62校/67校



ア 1年生の受入れを行わなかった放課後子ども教室が5校あった。

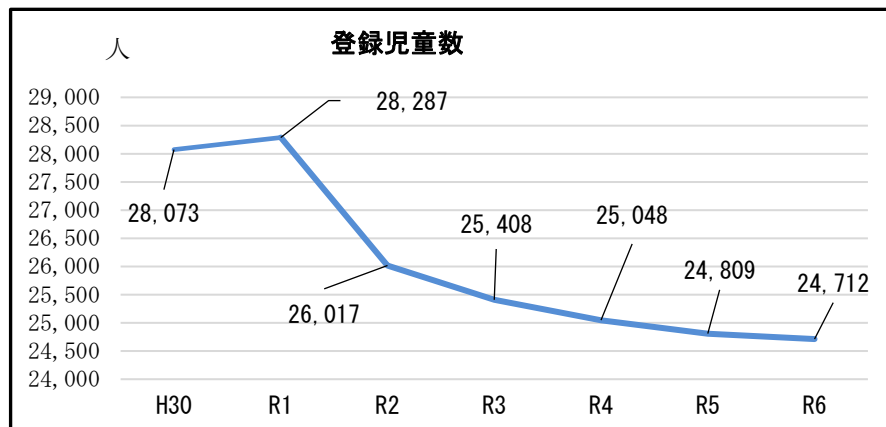
(ア) 受入れを行えなかった理由

- ① 1年生は他学年より早く授業が終わるため、放課後子ども教室の開始まで待機する必要があるが、待機場所がない。
- ② 活動中の見守りを他学年よりも慎重に行う必要があるが安全管理を万全に行うためのスタッフが不足している。

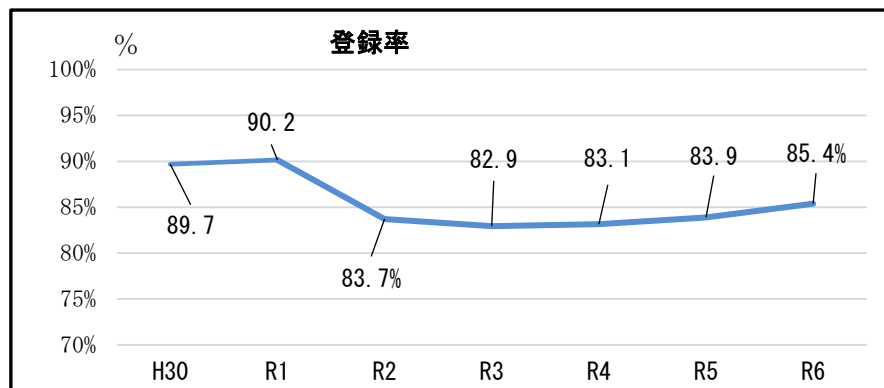
(3) 週5日実施校 58校/67校

一部曜日未実施：9校

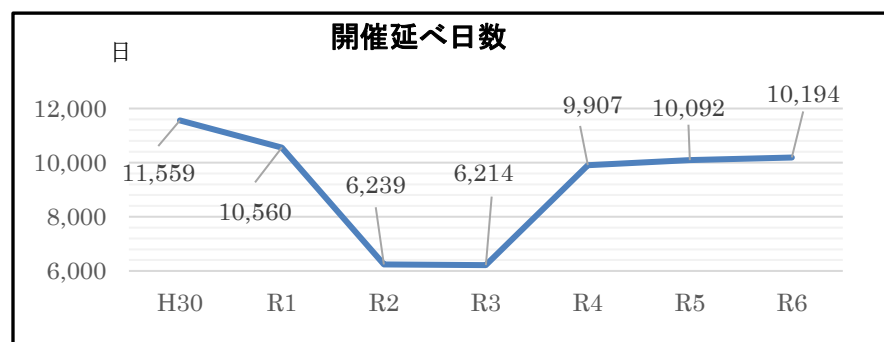
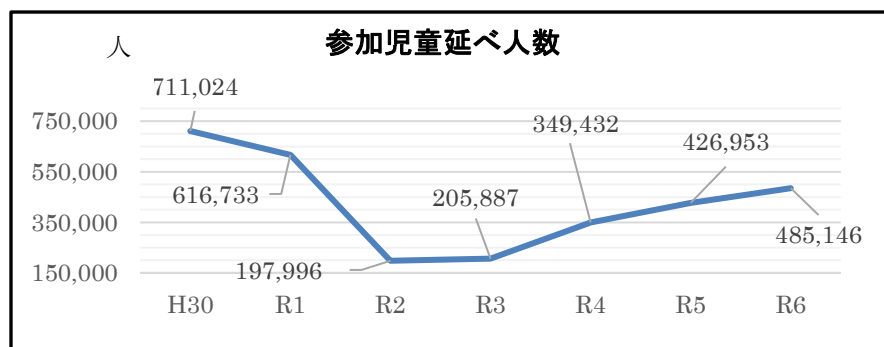
(4) 登録児童数と登録率



※ 令和2年度の登録者数の大幅な減少については、新型コロナウイルスの影響により全学年の利用停止が2校、1・2年生利用停止が15校あったことが要因である。



(5) 参加児童延べ人数・開催延べ日数



※ 令和6年度は、参加児童延べ人数・開催延べ日数ともに前年度より増加した。

4 「新・足立区放課後子ども総合プラン(令和2～6年度)」目標達成状況

(1) 放課後子ども教室の実施計画

ア 全学年対象校数

年度別目標	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
目標値	68校	68校	68校	67校	67校
実績値	68校	68校	67校	66校	66校
達成率	100.0%	100.0%	99%	99%	99%
達成分析	全学年対象未実施の残り1校については、該当校のスタッフ不足に対する支援を継続しながら、実行委員会と協議を進める。				

※ 目標値には、令和4年度 △1校、5年度 △1校の統合を含む。

イ 体験プログラムの充実

年度別目標	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
目標値	360回	370回	380回	390回	400回
実績値	52回	182回	561回	1,074回	1,444回
達成率	14.4%	49.1%	147.6%	275.3%	275.4%
達成分析	実績値は目標値を大幅に上回った。開催日数が増加したことと、体験プログラムの種目が増えたため。				

ウ 夏休み実施校数

年度別目標	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
目標値	6校	7校	8校	9校	10校
実績値	0校	1校	8校	10校	13校
達成率	0.0%	14.2%	100%	111%	130%
達成分析	実績値は目標値を超えた。夏休み実施について前年度末から検討できたため、開催校が増えた。				

(2) 特別な配慮を必要とする児童への対応

ア 「子どもとの接し方（スタッフ向け）研修」実施回数

年度別目標	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
目標値	1回	1回	1回	1回	1回
実績値	0回	3回	2回	2回	3回
達成率	0.0%	300.0%	200%	200%	300%
達成分析	「子どもとの接し方」をテーマにした研修を3回実施した。個別テーマは、①「気になる子との接し方～子どもに響く関わり方、届く言葉かけ」②「子どもの心を読み解くコミュニケーション実践法」（2回実施） ※①②集合型研修、①のみ併せて動画配信を実施				

5 問題点・今後の方針

- (1) 児童の安全を確保しながら、通常の運営（全学年実施・週5日）に戻していくよう、引き続き、実行委員会及び学校と協議していく。
- (2) 学校間に開催日数や1年生受入れ開始時期の差などが生じており、見守りスタッフの安定的な確保、低学年の待機場所調整等により、解消のための方策を検討していく。
- (3) 1年生の受入れに関しては、各小学校の放課後子ども教室実行委員会において、生涯学習振興公社担当者より実施に向けた協議を行うよう強く要望していく。

令和 7 年度 第 2 回 足立区地域保健福祉推進協議会
「子ども支援専門部会」

令和 7 年 1 2 月 1 6 日

【 審議・調査事項 報告事項 情報連絡事項 】

件名	乳幼児を対象にした夏の遊び場確保事業の実施結果について																													
所管部課	子ども家庭部 子ども政策課																													
内 容	乳幼児を対象にした夏の室内遊び場の確保対策として、以下の事業を試験的に実施したので報告する。																													
	1 事業名 「夏の遊び場 in 足立区役所」																													
	2 目的 猛暑時にも安心して遊べる室内環境を提供し、親子の触れ合いや子育て相談を通じて、子育ての不安解消を図る。																													
	3 日時 令和7年8月16日（土）、17日（日）午前10時～午後3時																													
	4 会場 庁舎ホール																													
	5 来場者数 205組591人 ※ 16日97組278人、17日108組313人																													
	(1) 来場した子どもの年齢																													
	<table><tr><td>0歳</td><td>1歳</td><td>2歳</td><td>3歳</td><td>4歳</td><td>5歳</td><td>6歳</td><td>小学生</td></tr><tr><td>19人</td><td>41人</td><td>53人</td><td>58人</td><td>45人</td><td>41人</td><td>13人</td><td>3人</td></tr></table>							0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	小学生	19人	41人	53人	58人	45人	41人	13人	3人							
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	小学生																						
	19人	41人	53人	58人	45人	41人	13人	3人																						
(2) 来場が多かった居住エリア（町丁別）																														
<table><tr><td>中央本町</td><td>梅島</td><td>足立</td><td>梅田</td><td>関原</td><td>綾瀬</td><td>竹の塚</td></tr><tr><td>28組</td><td>18組</td><td>15組</td><td>13組</td><td>8組</td><td>7組</td><td>6組</td></tr></table>							中央本町	梅島	足立	梅田	関原	綾瀬	竹の塚	28組	18組	15組	13組	8組	7組	6組										
中央本町	梅島	足立	梅田	関原	綾瀬	竹の塚																								
28組	18組	15組	13組	8組	7組	6組																								
6 実施結果（延べ人数）																														
<table><tr><td></td><td>コーナー名</td><td>16日</td><td>17日</td></tr><tr><td>1</td><td>ボールプール（3歳～就学前用） ※ 2～3歳用は未集計</td><td>170人</td><td>174人</td></tr><tr><td>2</td><td>体を使ってあそぼうコーナー</td><td>169人</td><td>181人</td></tr><tr><td>3</td><td>作ってあそぼうコーナー</td><td>188人</td><td>200人</td></tr><tr><td>4</td><td>テントでのおはなし会（各日4回開催）</td><td>79人</td><td>90人</td></tr><tr><td>5</td><td>保育コンシェルジュへの相談</td><td>9組</td><td>9組</td></tr></table>								コーナー名	16日	17日	1	ボールプール（3歳～就学前用） ※ 2～3歳用は未集計	170人	174人	2	体を使ってあそぼうコーナー	169人	181人	3	作ってあそぼうコーナー	188人	200人	4	テントでのおはなし会（各日4回開催）	79人	90人	5	保育コンシェルジュへの相談	9組	9組
	コーナー名	16日	17日																											
1	ボールプール（3歳～就学前用） ※ 2～3歳用は未集計	170人	174人																											
2	体を使ってあそぼうコーナー	169人	181人																											
3	作ってあそぼうコーナー	188人	200人																											
4	テントでのおはなし会（各日4回開催）	79人	90人																											
5	保育コンシェルジュへの相談	9組	9組																											
※ 2～4は、保護者の人数を含む																														

7 経費

	項目	金額（税込）
1	ボールプール設営・運営委託	988,900 円
2	各コーナー消耗品購入	136,323 円
3	P R チラシ作成・印刷委託	114,400 円
4	絵本コーナーテント設営・運営委託	80,000 円
	合計	1,319,623 円

8 従事者数

日付	区職員	委託事業者	合計
16日	37 人	6 人	43 人
17日	38 人	6 人	44 人
	75 人	12 人	87 人

9 来場者アンケート

(1) 回答数

170件（16日79組、17日91組）

(2) 次回設置して欲しいコーナー

	コーナー名	件数
1	ボールプール	141 件
2	体を使ってあそぼうコーナー	111 件
3	絵本コーナー	108 件
4	作ってあそぼうコーナー	96 件
5	保育コンシェルジュ相談コーナー	25 件

(3) 希望する開催時期

7月 上旬	7月 中旬	7月 下旬	8月 上旬	8月 中旬	8月 下旬	9月 上旬	9月 中旬	9月 下旬
12 件	13 件	21 件	35 件	85 件	28 件	20 件	25 件	23 件

(4) 開催日数

	日数	人数
1	1～2 日	92 件
2	3～4 日	45 件
3	5～6 日	16 件
4	それ以上	15 件

(5) 希望する開催場所件

	場所	人数
1	庁舎ホール	144 件
2	ギャラクシティ	63 件
3	地域学習センター	31 件
4	シアター1010	28 件

	<p>(6) 自由記載欄</p> <p>ア 意見</p> <p>① 子どもが楽しめた 18件</p> <p>② スタッフの対応が良かった 10件</p> <p>③ 外は暑くて遊べないので良かった 5件</p> <p>④ 混雑していなくて良かった 3件</p> <p>イ 要望</p> <p>① 0～1歳が遊べるエリアが欲しい 4件</p> <p>② 別の場所でも開催してほしい 3件</p> <p>③ イベントをもっと周知してほしい 2件</p> <p>10 主なPR方法</p> <p>(1) あだち広報7月25日号、区HP、区公式SNS、コドモン</p> <p>(2) 保育施設や保健センター、子育てサロンなどへのチラシ配布</p>
--	---